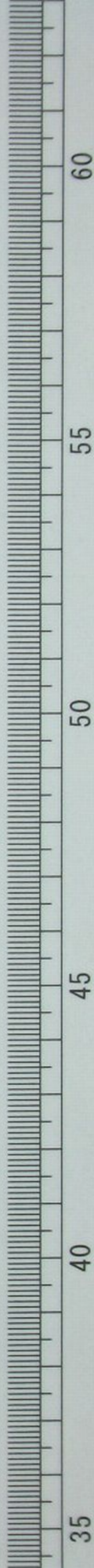




新撰雜記  
門記  
二

△ 7  
4880  
2



57  
4880  
2

新撰大工雜形卷二目錄



平走間山門

唐棟門

唐八ッ足門

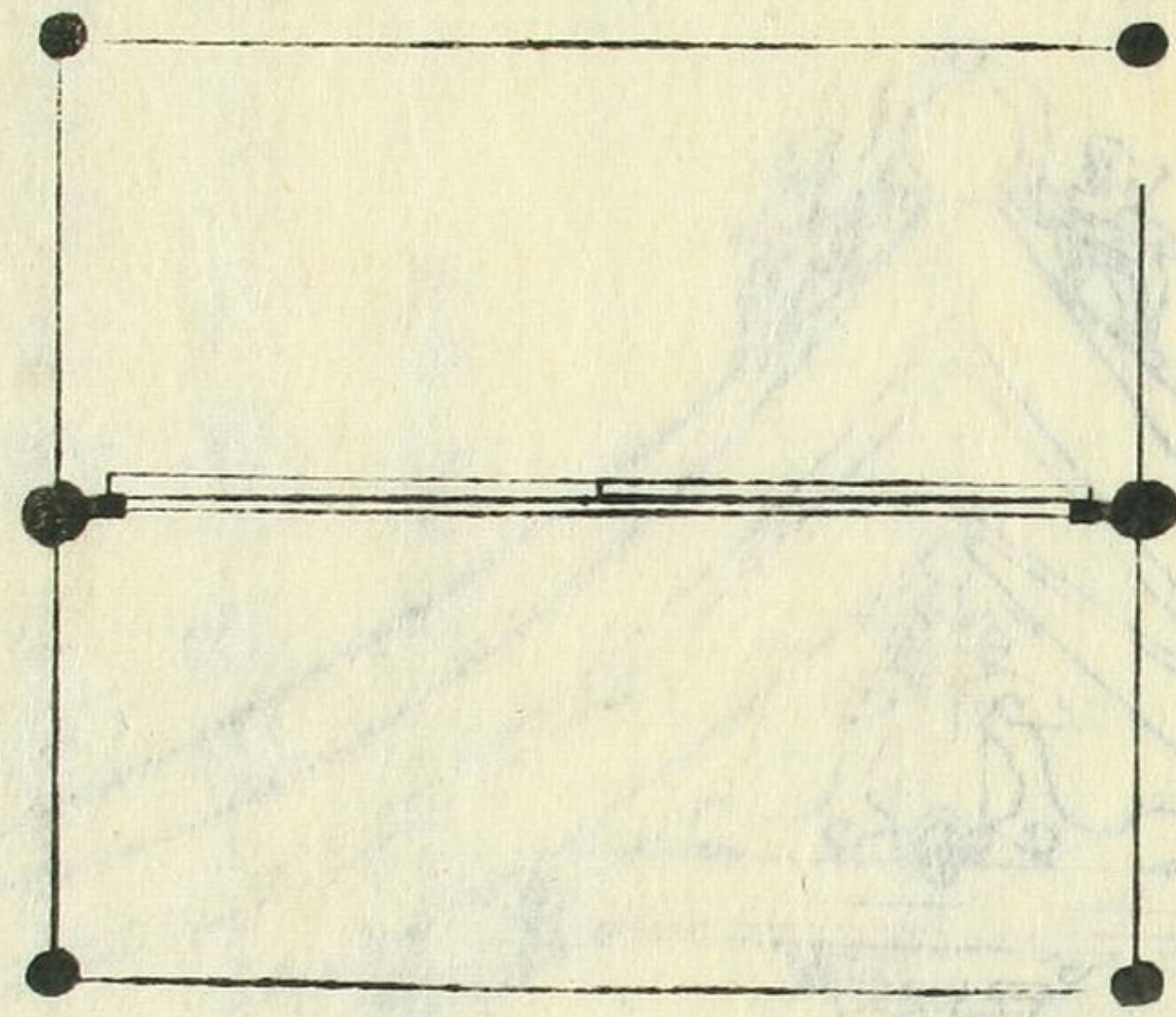
出組四ッ足門

朱葎門

平檼門

南大門

大工雜形  
卷二  
目錄



外十四

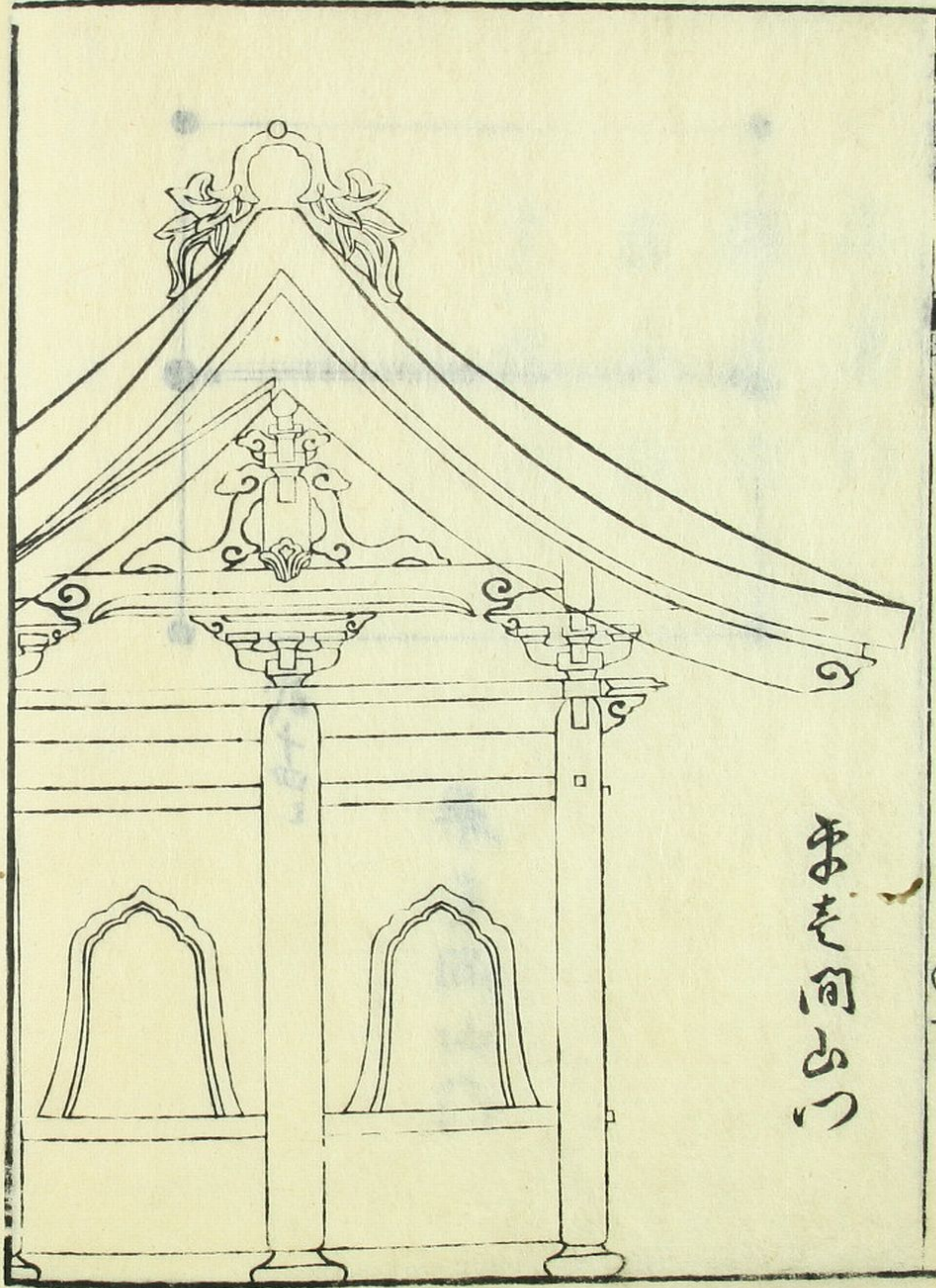
平走間山門



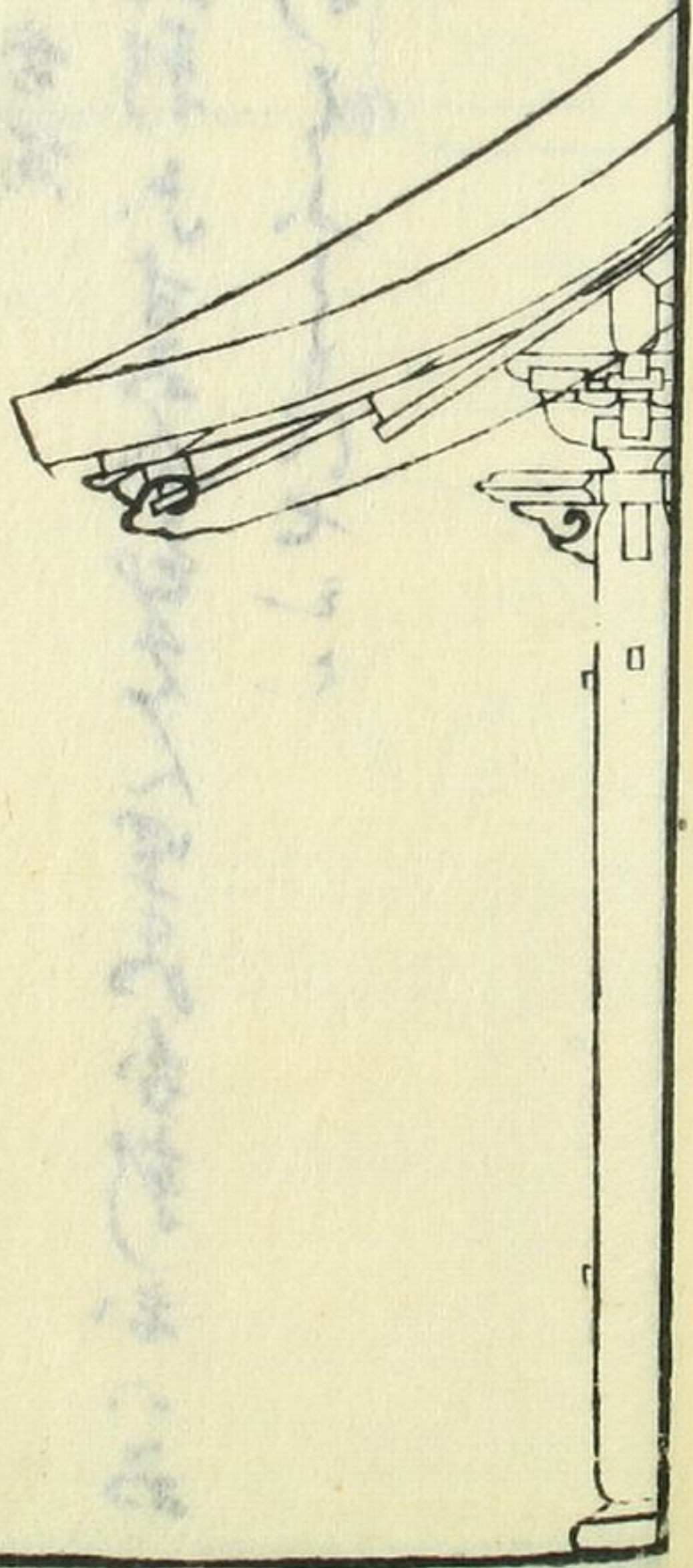
美	後	龍	安
托	心	王	喜
門	門	門	門

平走間山門

平走間山門



おき間とら



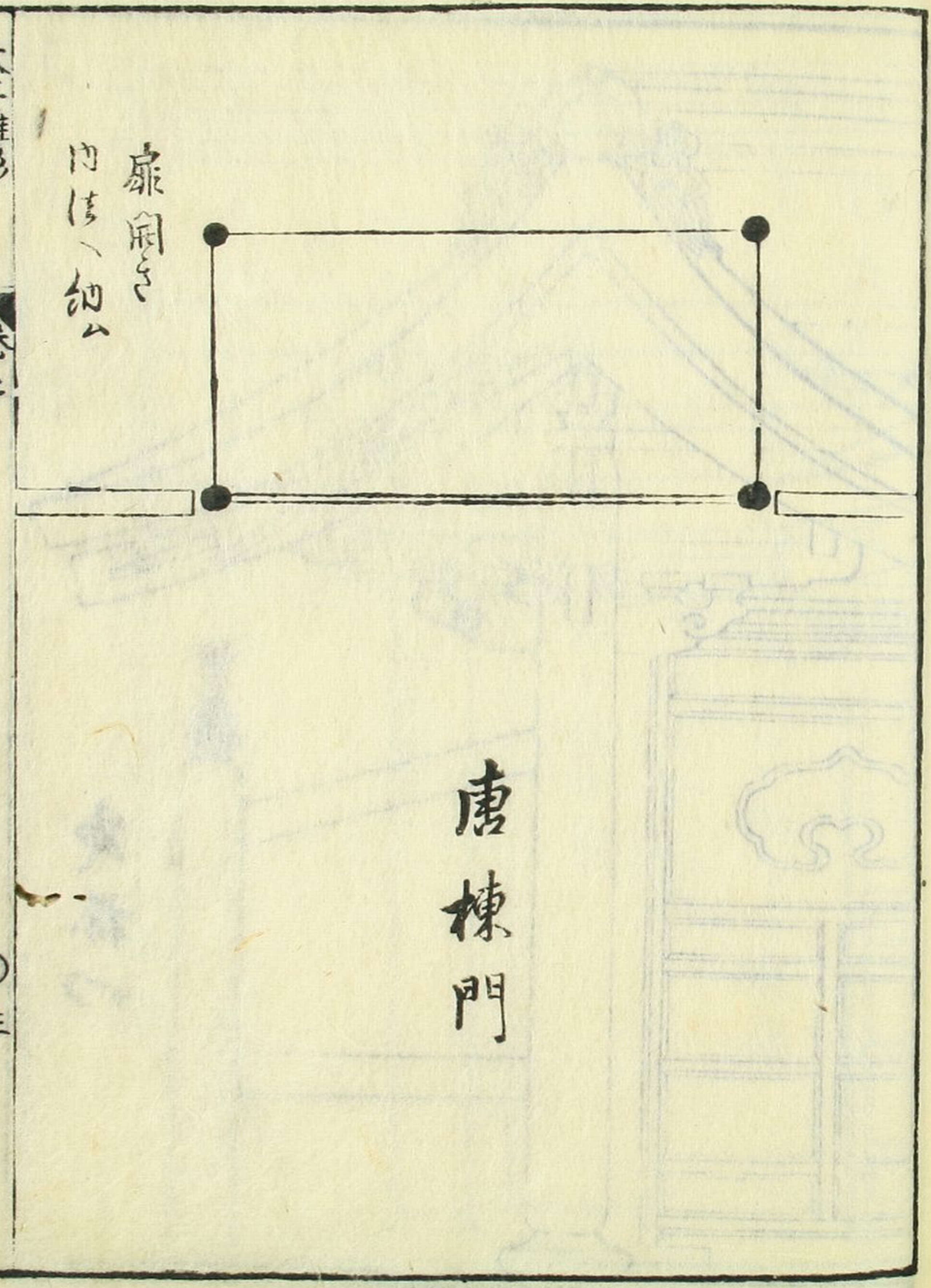
平臺間山門本割

一向く門式拾四枝掛あして妻乃万とらとて園とこ  
 柱内は小押とせし  
 一板大サ喜守式分かぞへかち柱を中柱とてハ朱のり

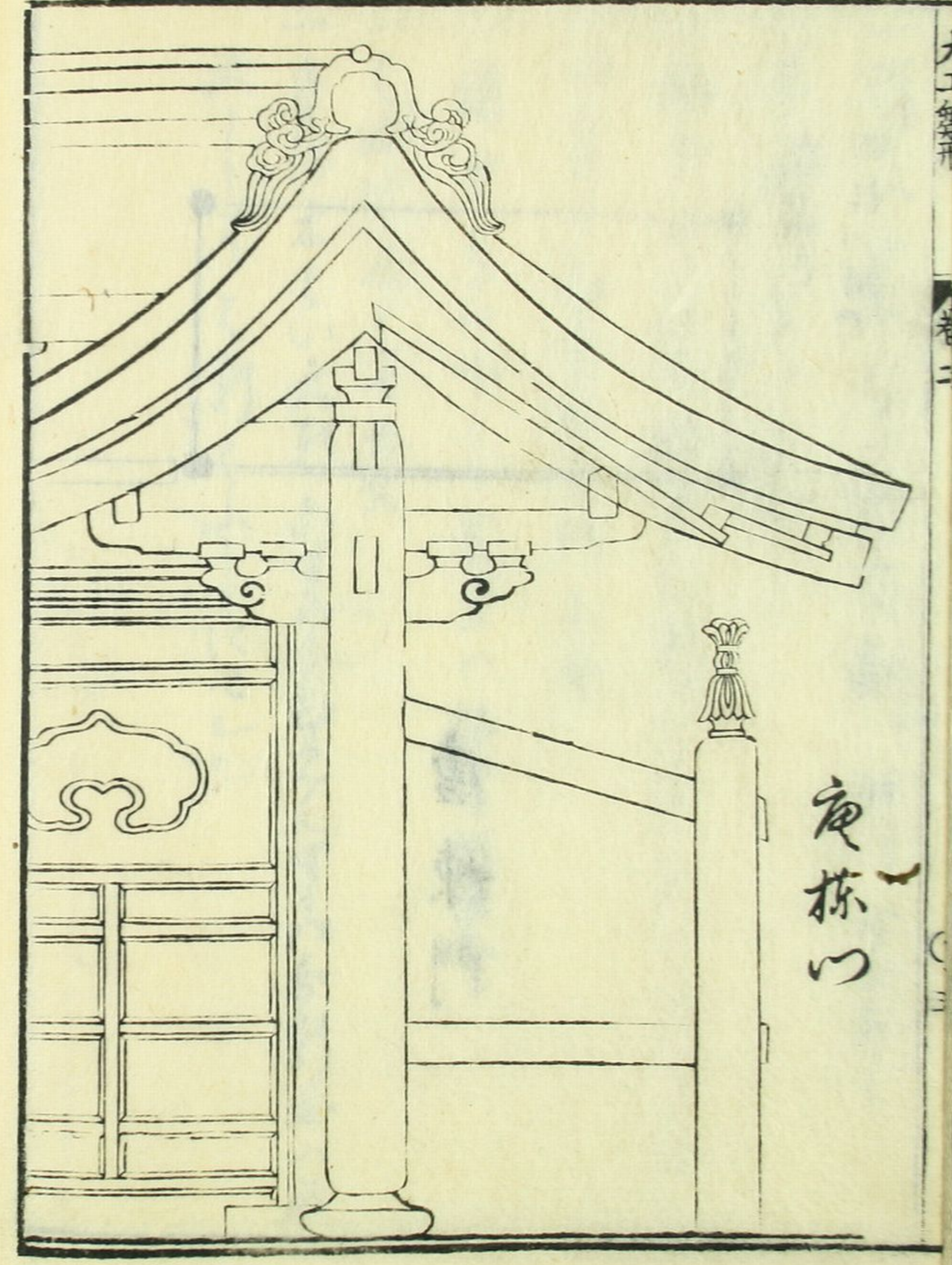
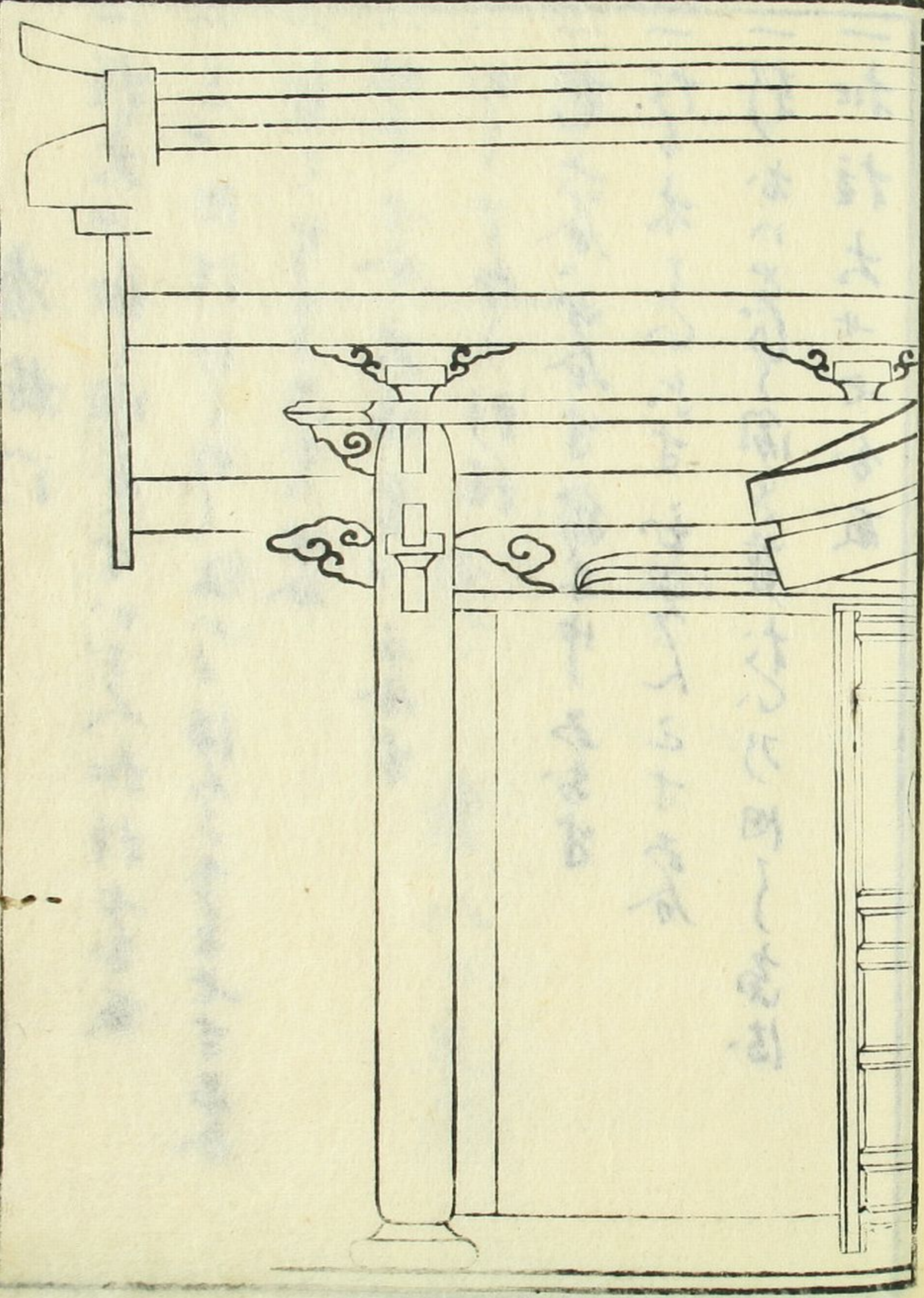
- 一 距堂ハ分取厚サ柱ノ割 任シ中カ至リ
- 一 平枳 厚サ二分
- 一 極中ノ分腰中ノ日
- 一 枳貫ト印也此方柱モ本
- 一 極中ニ下ナ下リ貫上ノはぐ極中
- 一 一、極中出シ七歩
- 一 一、本木ノ大朝六分五分ノ入ノ朝カハ
- 一 六—ノ朝カハ七

唐棟門

扉開キ  
内法ノ細ム



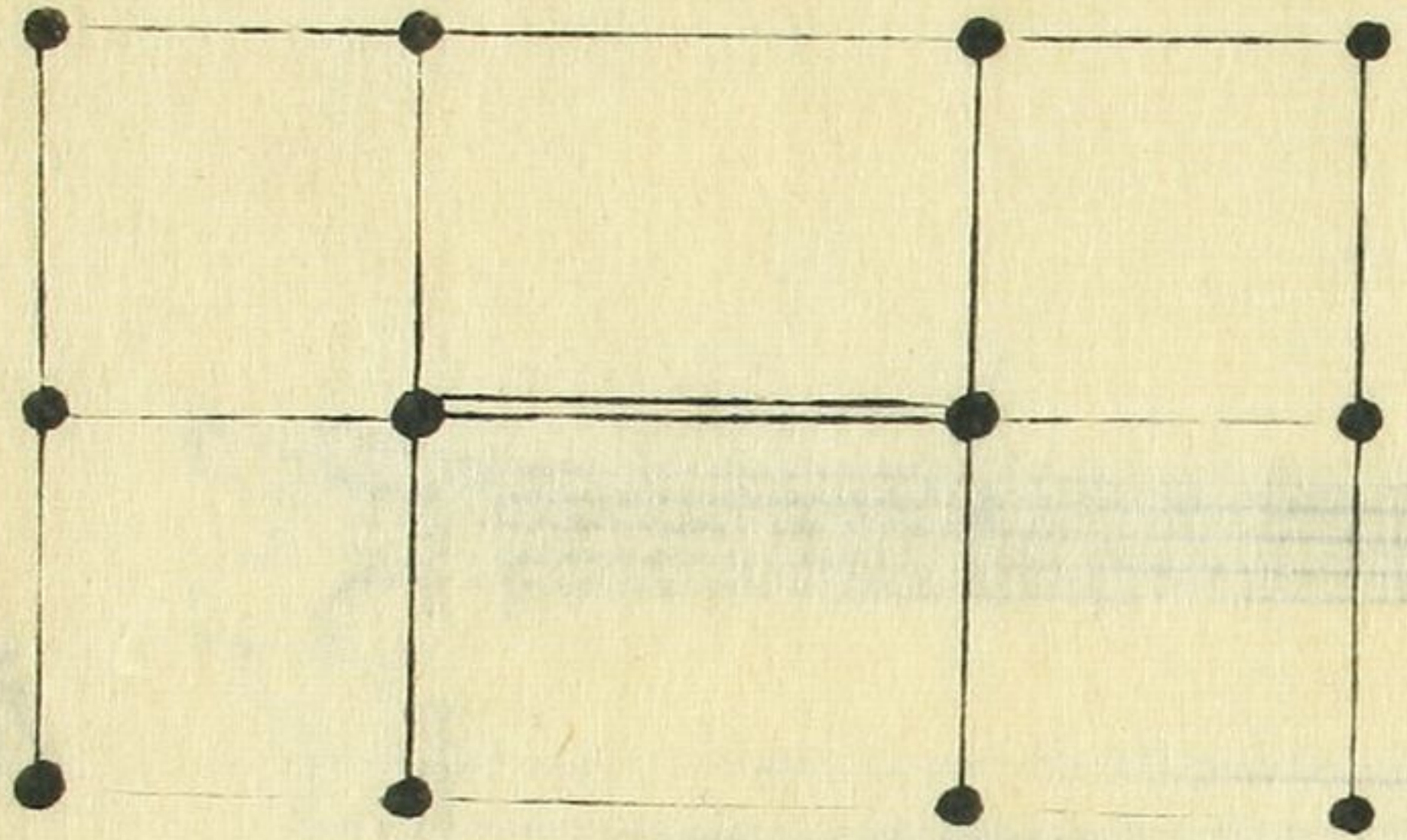
大正維新  
卷六  
三



夜棟門

唐栌門

- 一 柱大廿四寸間七寸かぞへ加柱七分取
- 一 高廿四寸はけしを形一上の方はけしを七寸五分
- 一 けえちり一五分四分
- 一 形七分大楠厚廿二分五分
- 一 かしり中柱徑
- 一 柳六分四分生縁木中五分五分
- 一 柱の本もいふ寸五寸五分五分
- 一 形かいとびり間を芽む心乃何く高は
- 一 加柱大廿七分取

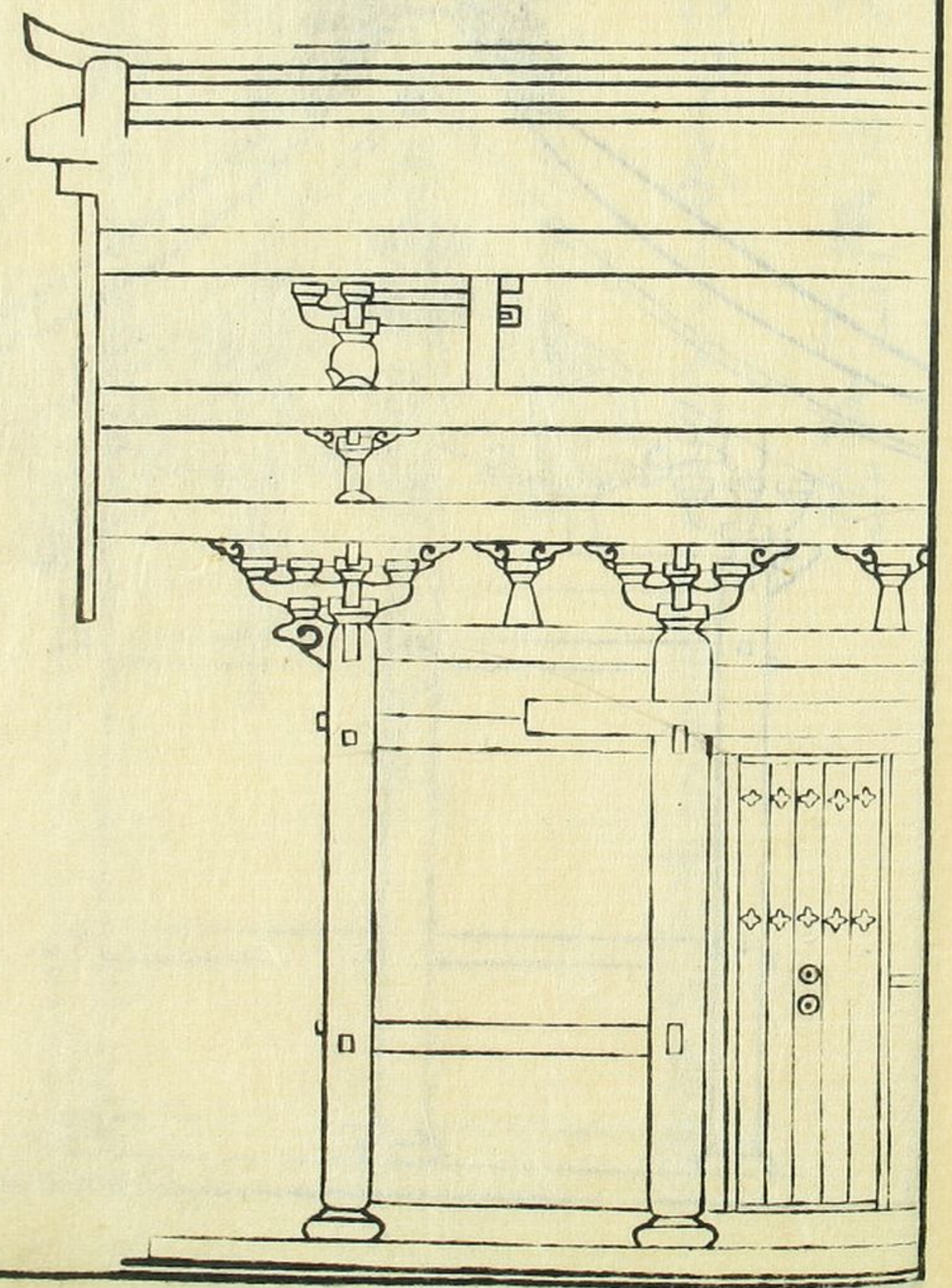


拾二

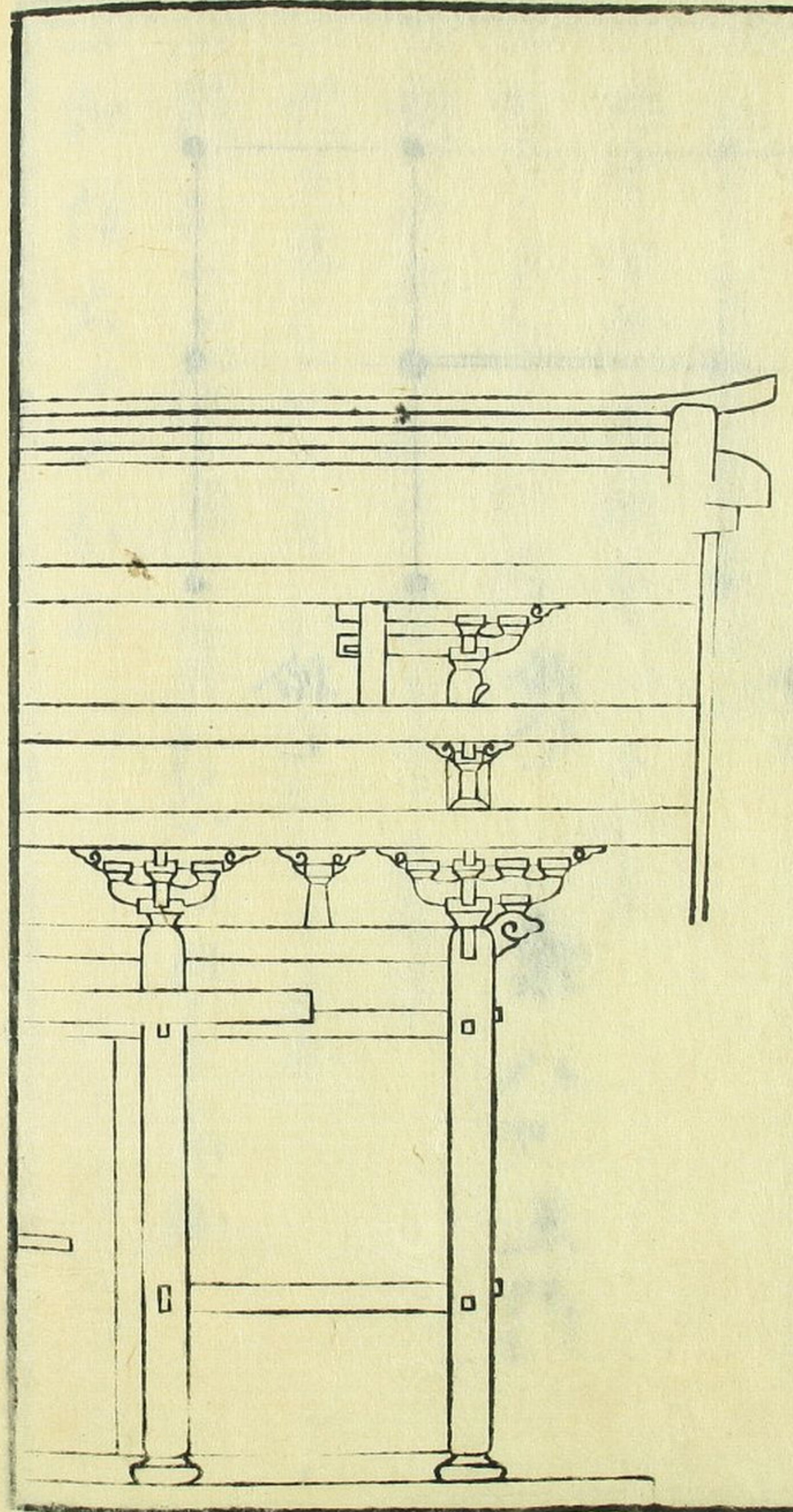
拾八

唐八ツ足門

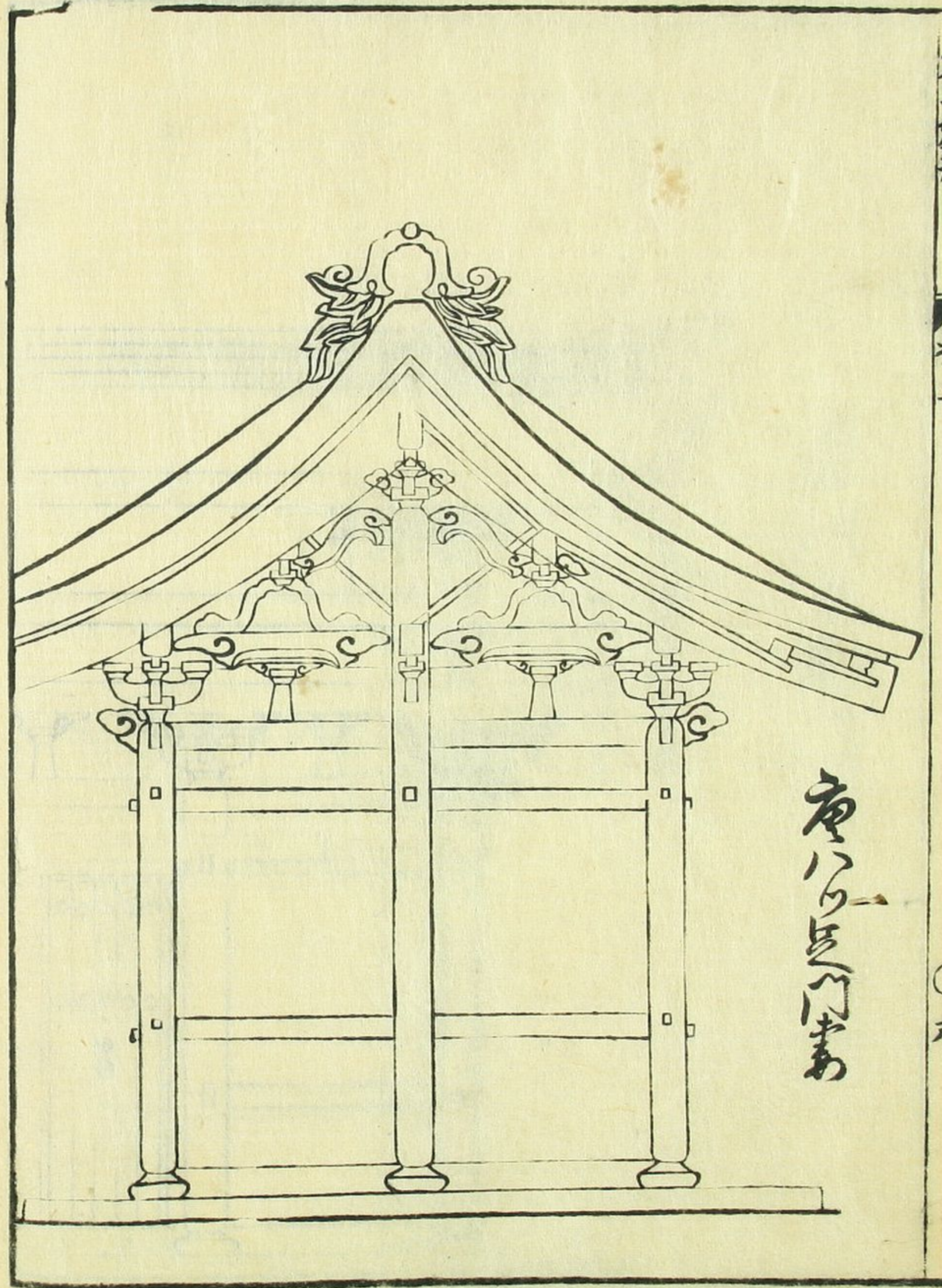
拾三



唐ハツ足門



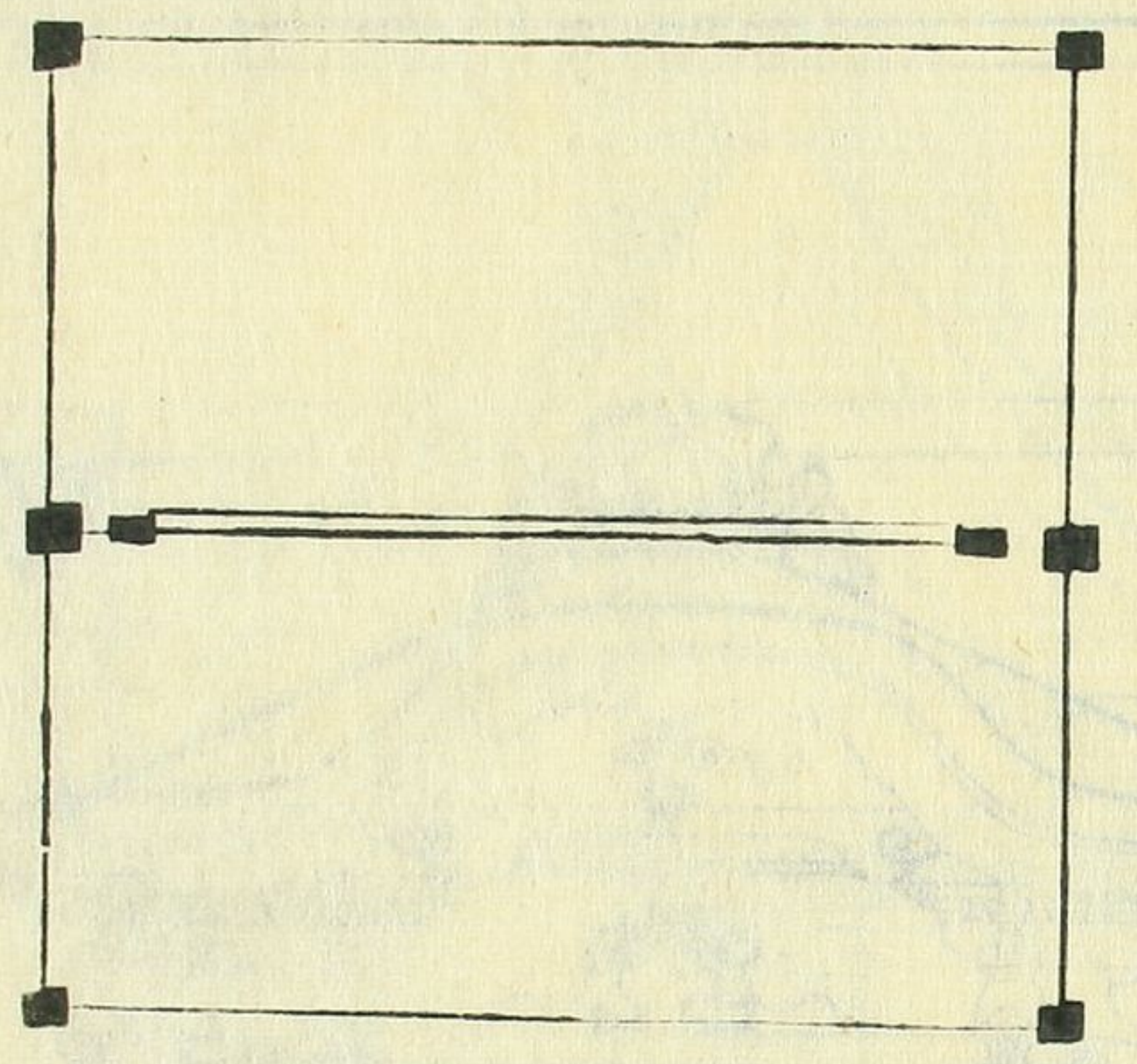




夜ハツ足門本割

夜ハツ足門本割

- 一 高廿四寸けいふかー上りより柱中を二尺間分三寸一
- 一 柱方廿四寸間としをす式分取
- 一 形中七分半に柱貫線中六分取
- 一 貫線廿四寸腰中下中ぐ柱五分取
- 一 形中く尺柱五分五分取
- 一 地中乃厚五分中ハ空く柱中五分ハ線
- 一 中一すみい〜切

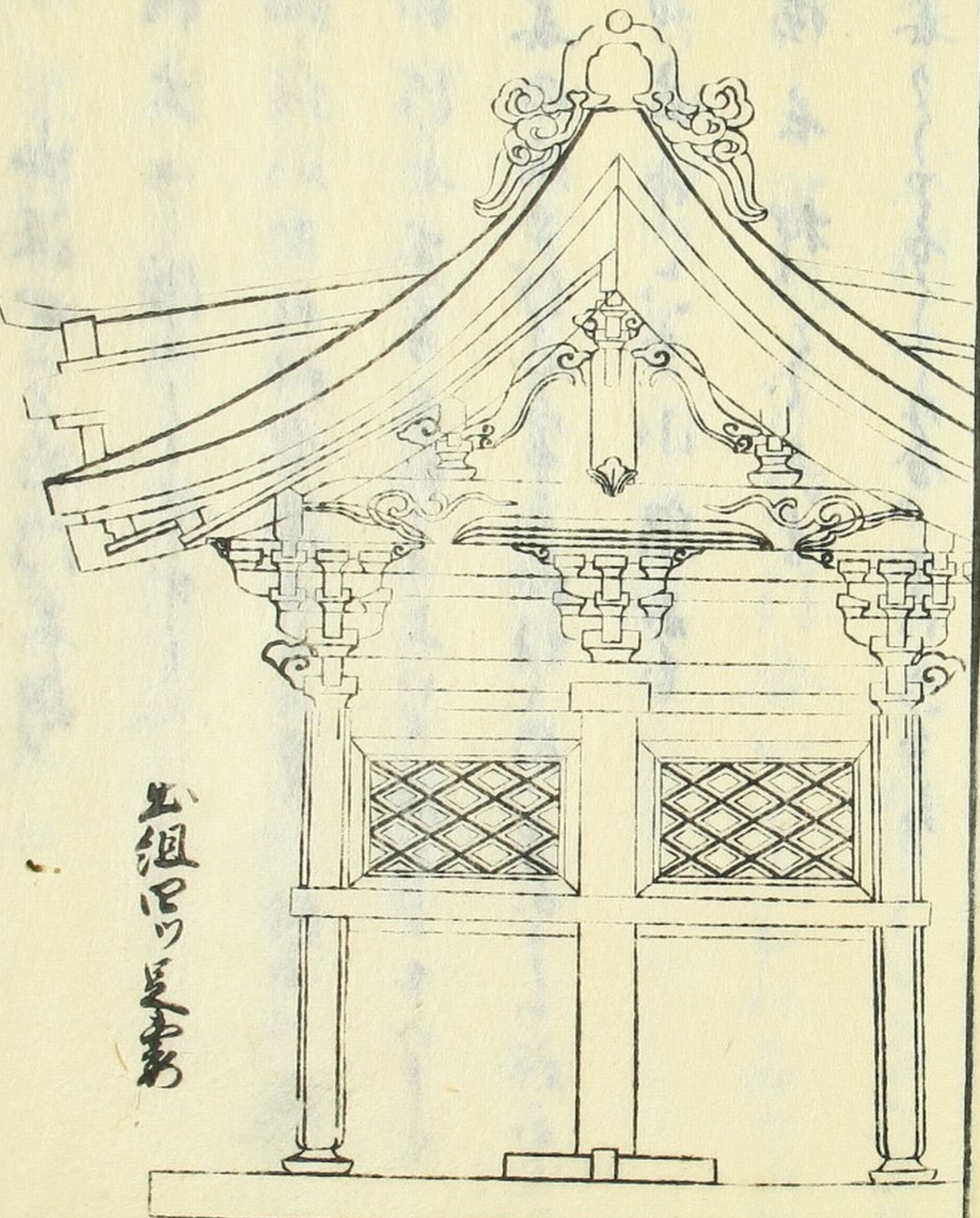


六寸

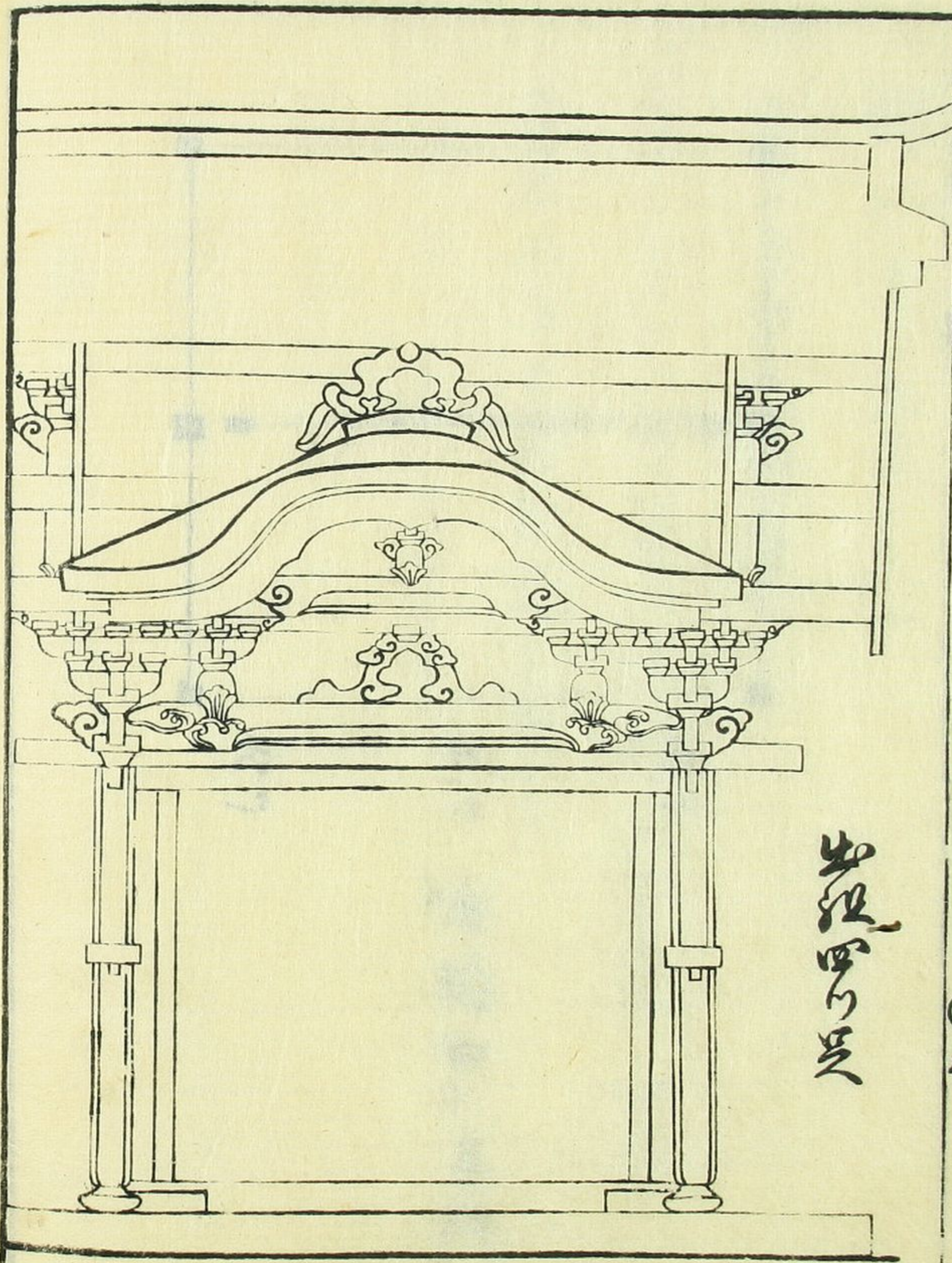
廿二 出組四ツ足門

六寸

- 一 桁八分ニ五分寸
- 一 かくり中う柱
- 一 二寸五分ハ寸分ニ大軒五分五分
- 一 五分五分ハ五分五分



上組口の足木



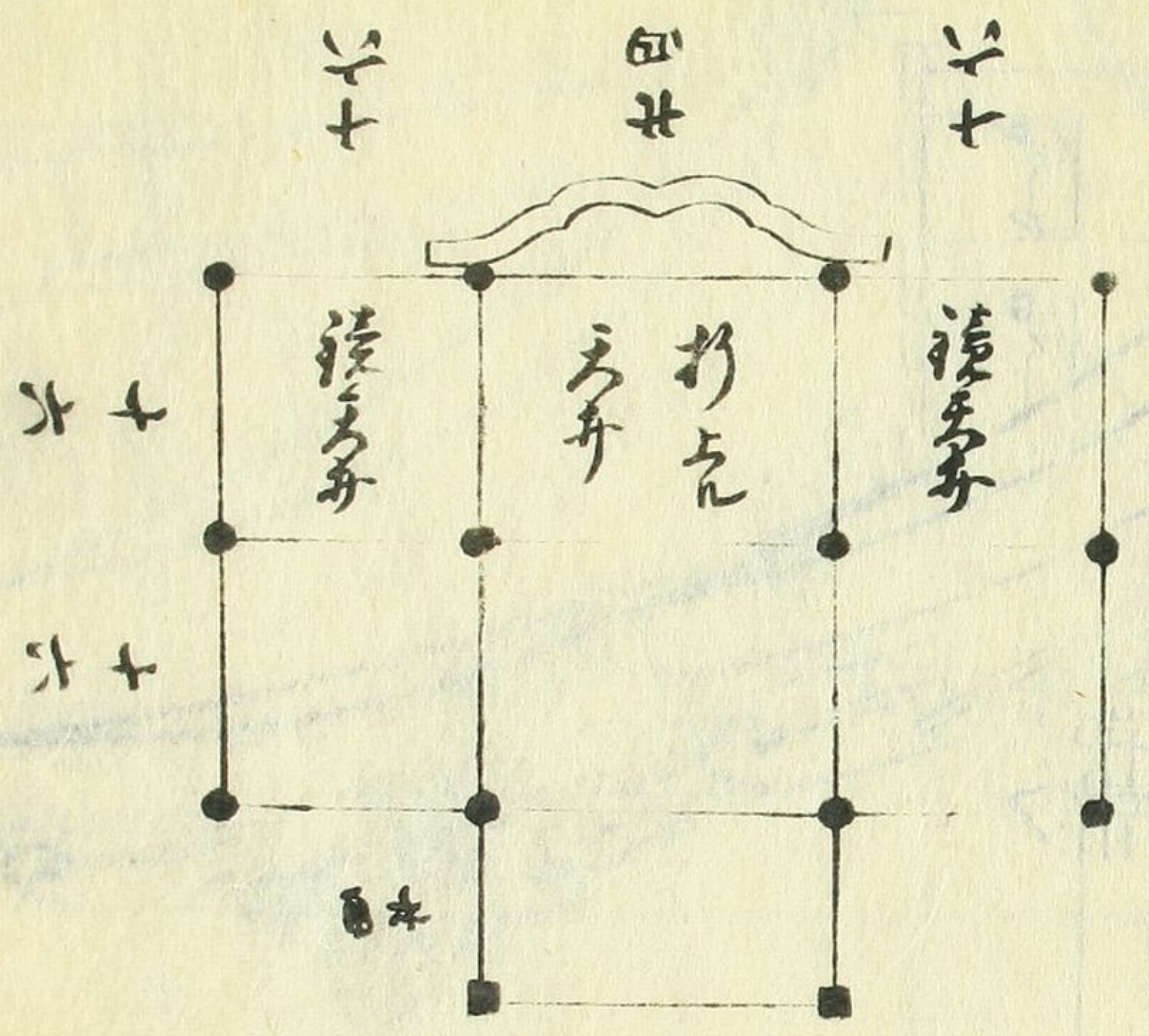
下組口の足木

出流四ツ足門本割

- 一 柱六カ間あり寸かぞ
- 一 袖柱八分おれ垂幅七分厚カ柱三ツ割
- 一 内法七寸五分上は海を十寸五分
- 一 妻の間五尺五分厚さ袖柱六尺五分厚さ柱六尺五分
- 一 一方立中六分小振五分
- 一 腰七尺押五分六分
- 一 妻六尺五分厚さ柱六尺五分

一 せうぶ棚中をいじくしぬ下とて上棟の  
 所を破風上り等ぞ引合いともむれり三割  
 其外四ツ足門は所ありて

- 一 一とふ妻柱あり七分お
- 一 一のぶき厚さ五分中いじくお
- 一 一とふ内法五分離放上りより取せ下とほぐ
- 一 一六尺五分厚さ中いじくお
- 一 一初梁柱とて五分お下い七分お



朱雀門

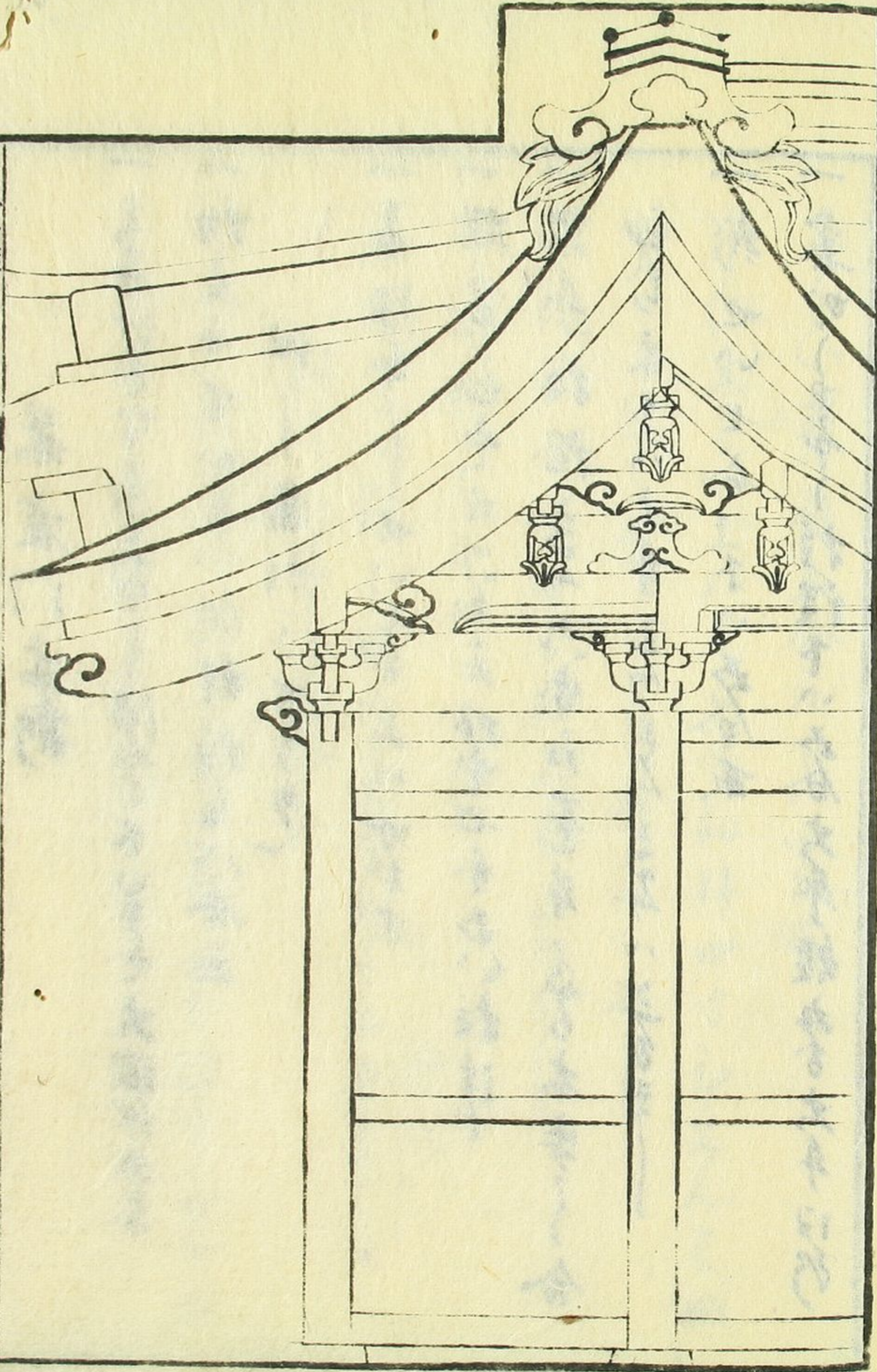
一 柳 世い 七分 二 十の五分  
 一 のうらふ 大朝 六寸五分 部 八人 四寸五分  
 一 軒 前川 五枚 六一  
 一 葺く 新 破風 七枚 出  
 一 とふ 中 長さ 七枚 六  
 一 結斗 中 柱 七枚 本 割 神 柱 七枚 定 七枚

八

大正雜形

卷二

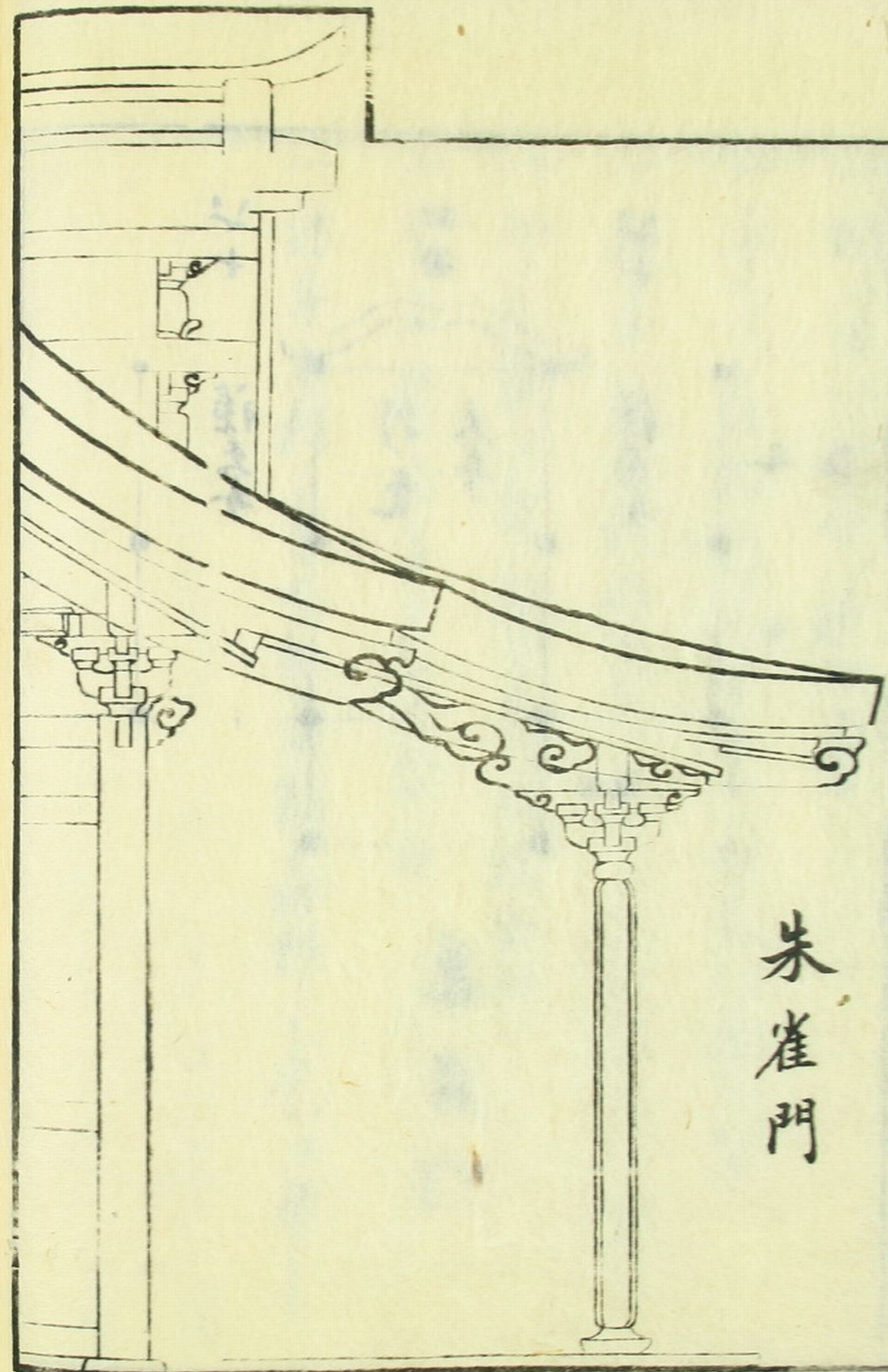
〇



大正雜形

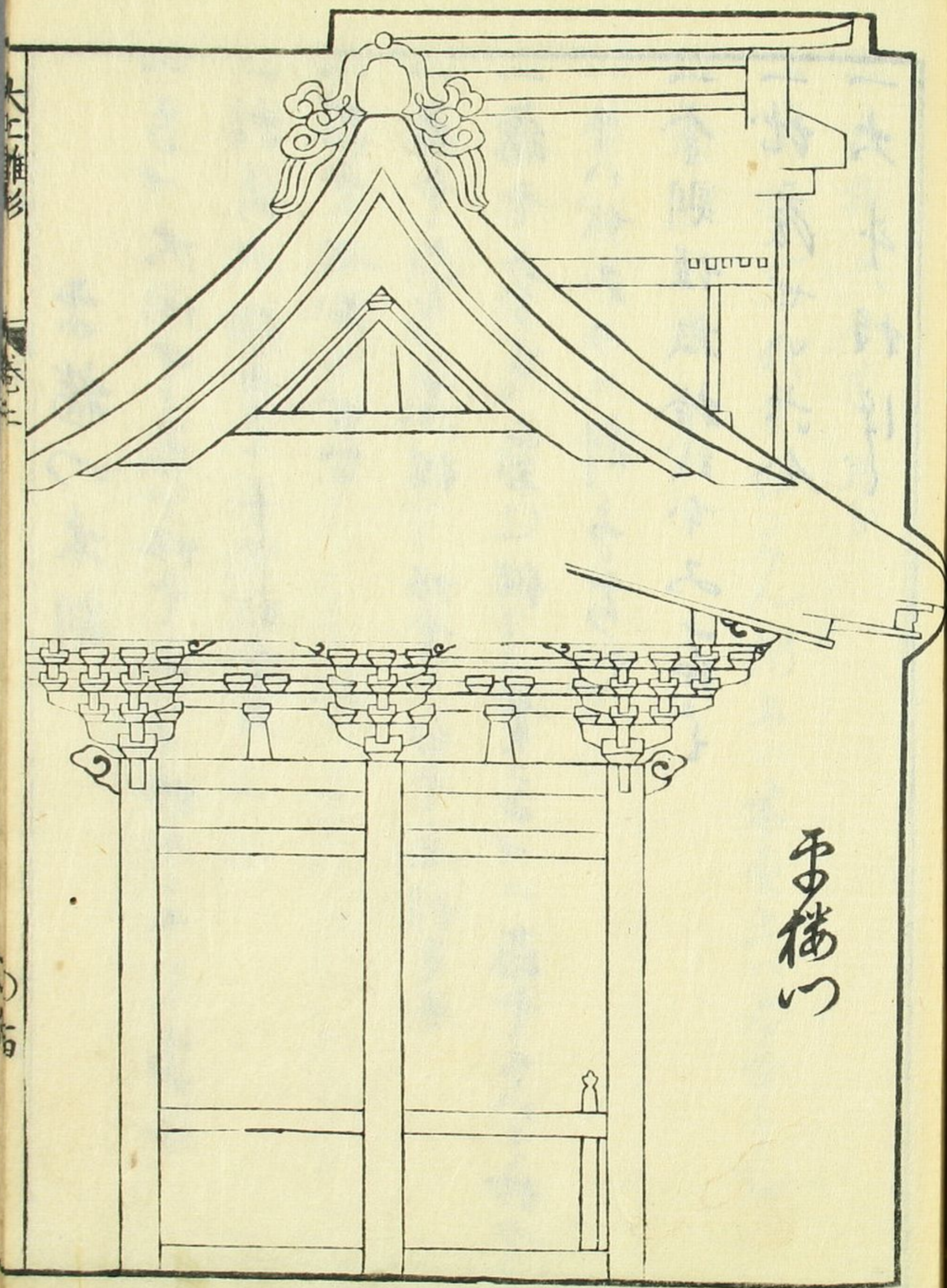
卷二

〇

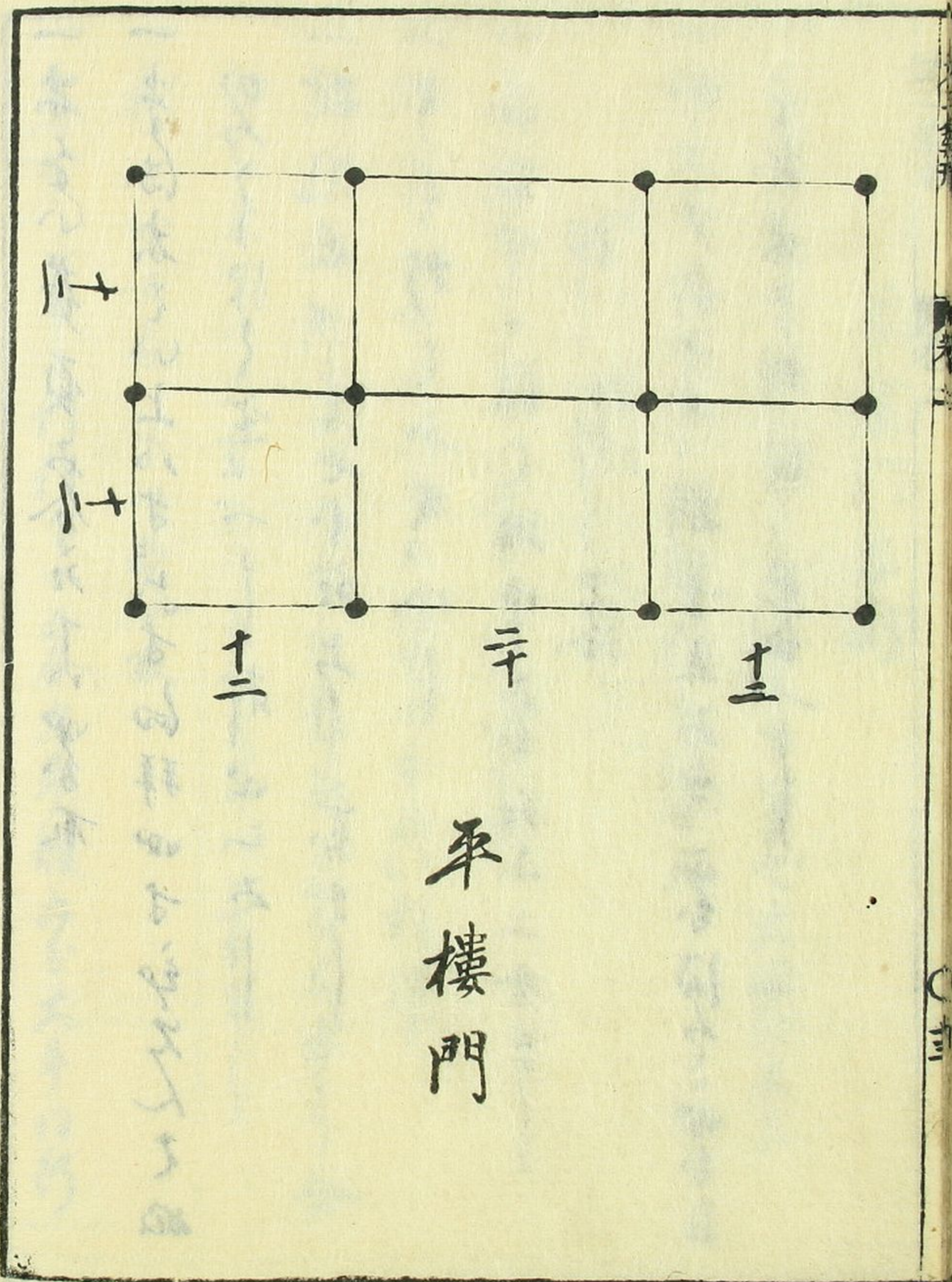


朱雀門





平櫓門



平櫓門

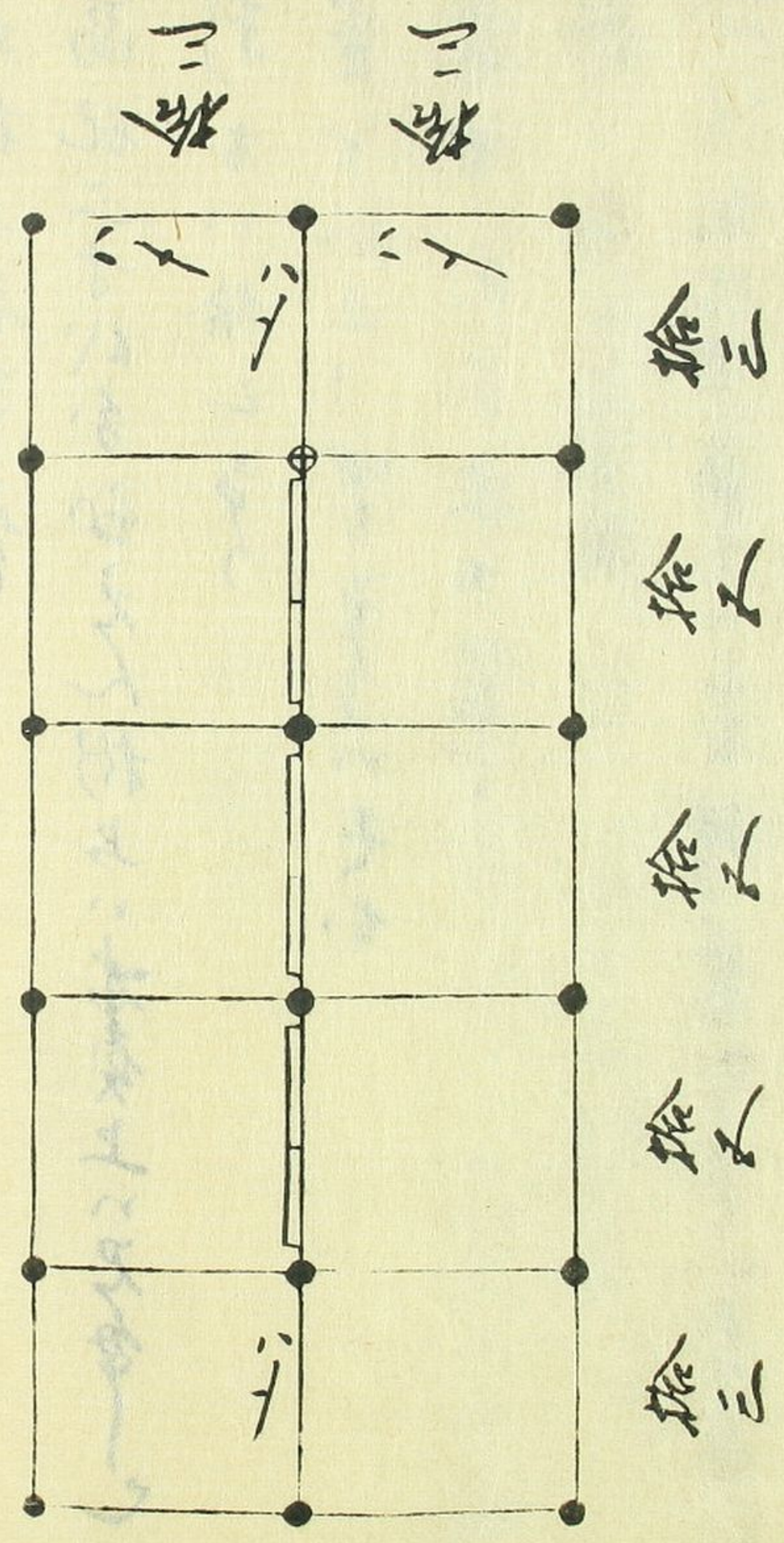
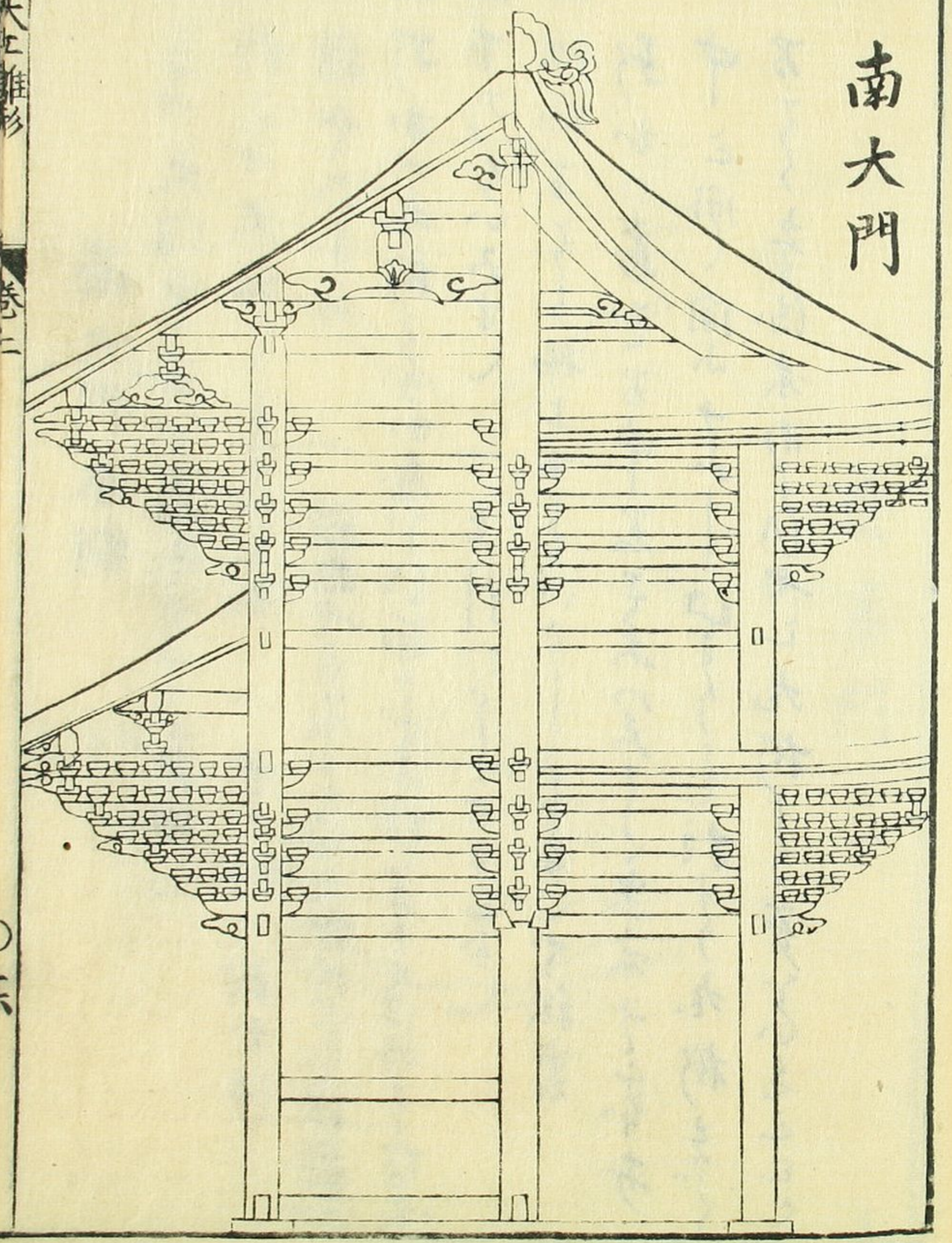


栗橋の本割

- 一 高廿大間中意と地せ上の地と下り高は
- 一 柱大廿間中と地せ上の地と下り高は
- 一 距七廿五分
- 一 飛せ上の三分伴一飛せ上の地と下り高は
- 一 飛せ下の三分伴一飛せ下の地と下り高は
- 一 下り城五三分割と下り高は
- 一 全則垣板拾式本又下り高は
- 一 地産せい六分
- 一 大斗柱は

- 一 九桁六分半五分
- 一 高配三寸式分とえん桁上の本真上の地と下り高は
- 一 軒おの拾三分
- 一 葺とい長ヶ甲かそりの地と下り高は
- 一 裏甲たふ本下り高は
- 一 棟く外と九分
- 一 一斗高配七寸五分とえん桁上の地と下り高は
- 一 破凡九桁より式板目外と下り高は

# 南大門

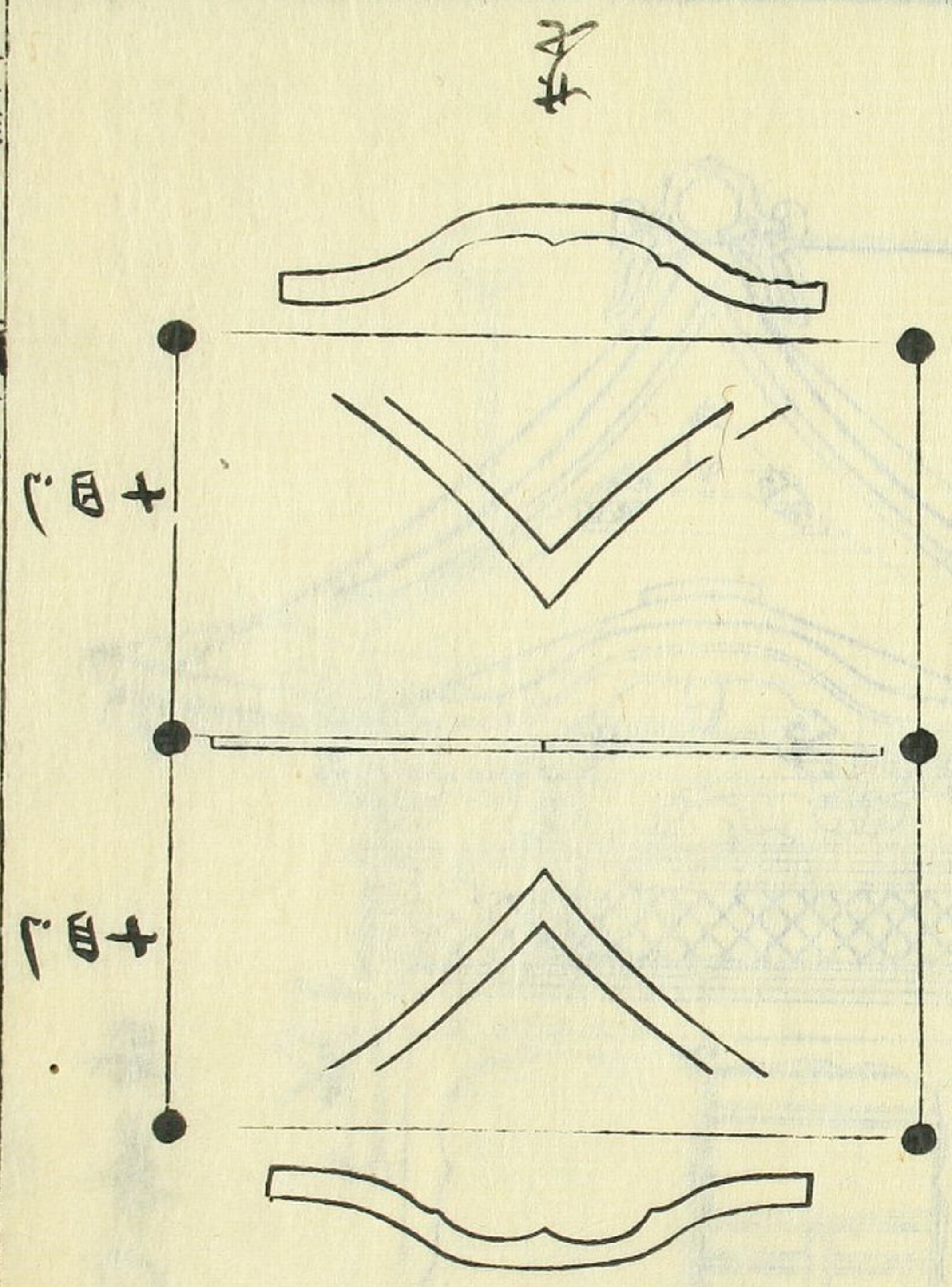


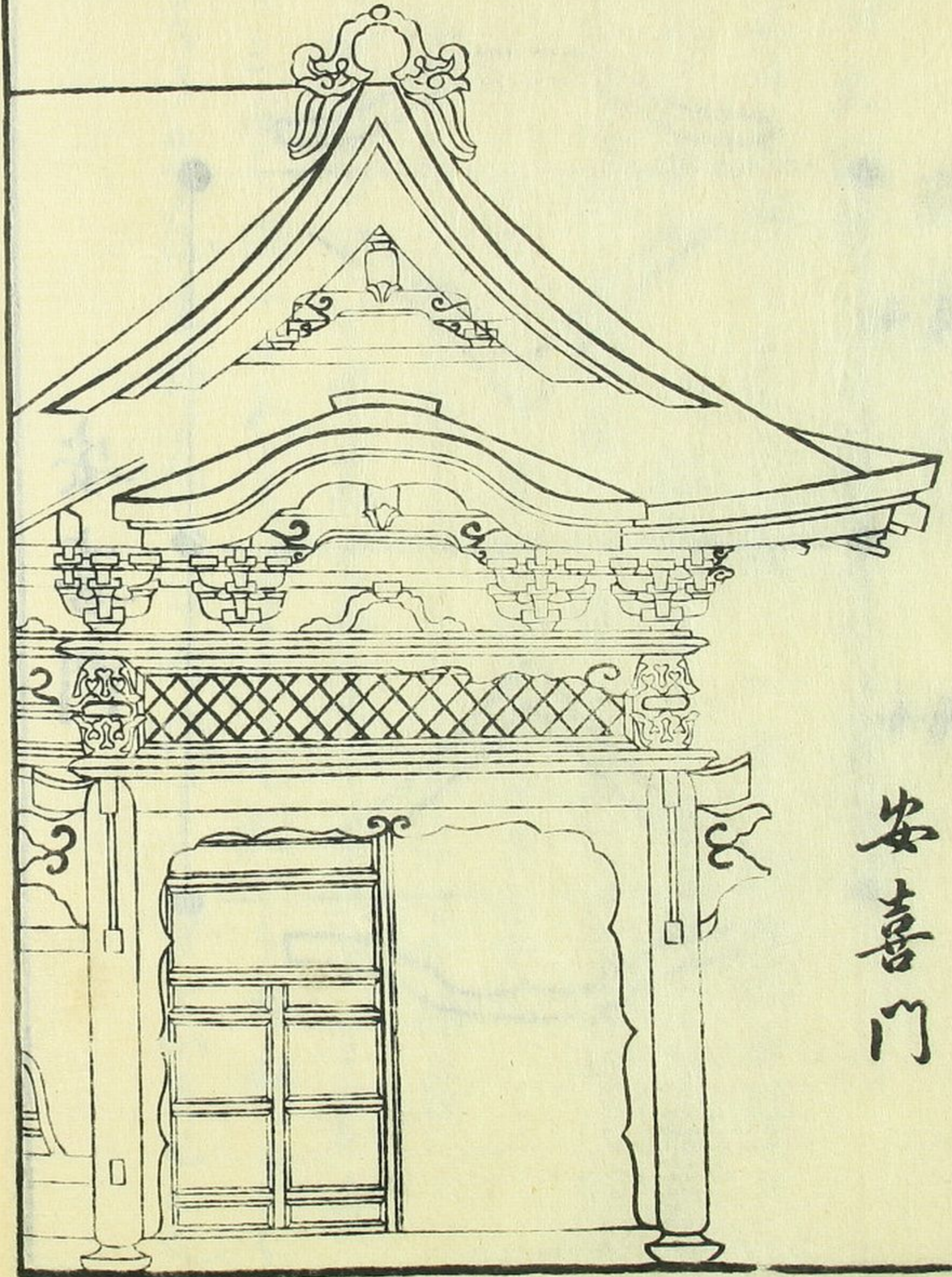
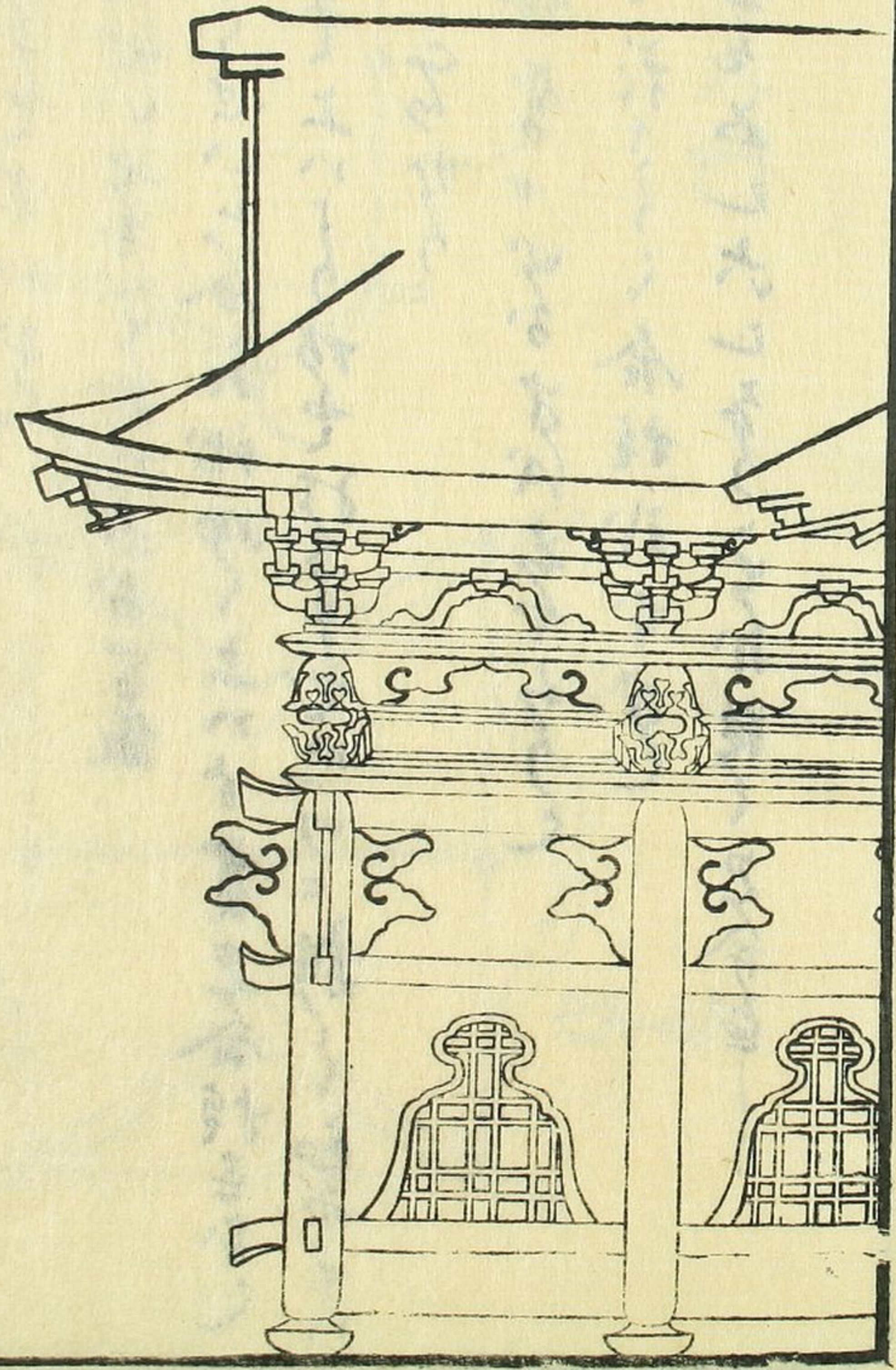
南大門為都東大寺之門

### 南大門木割

一 言廿大門中馬と飛せ下の高は  
 一 柱大廿大間ととて守式を取 一 中柱の式分は  
 一 櫓せ六分取 一 梁物せも先で丸九柄の七と梁割  
 一 折お丸九柄よりかたとい面を二柱の上平丸のりた  
 一 下乃をいみすし 一 上引けしとてす  
 一 仕極るより物上下とていしとて多しや極裏  
 一 折おの妻を中馬とてまのりしとて木十とて  
 一 中との間とて向ふとてしとて柱より丸九柄ま  
 一 乃よりとて木あとい七と丸九柄よりとてとて

### 安喜門



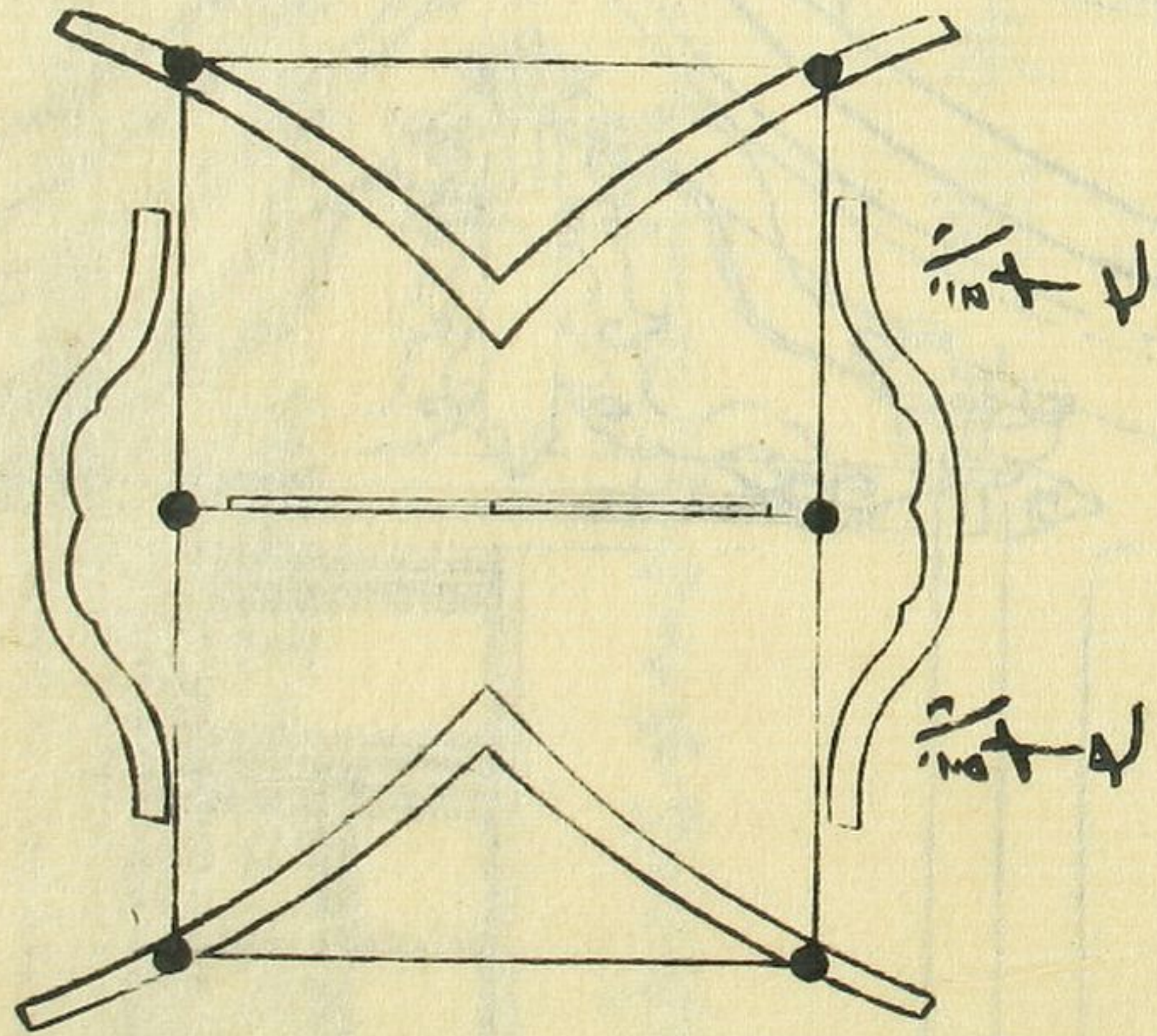
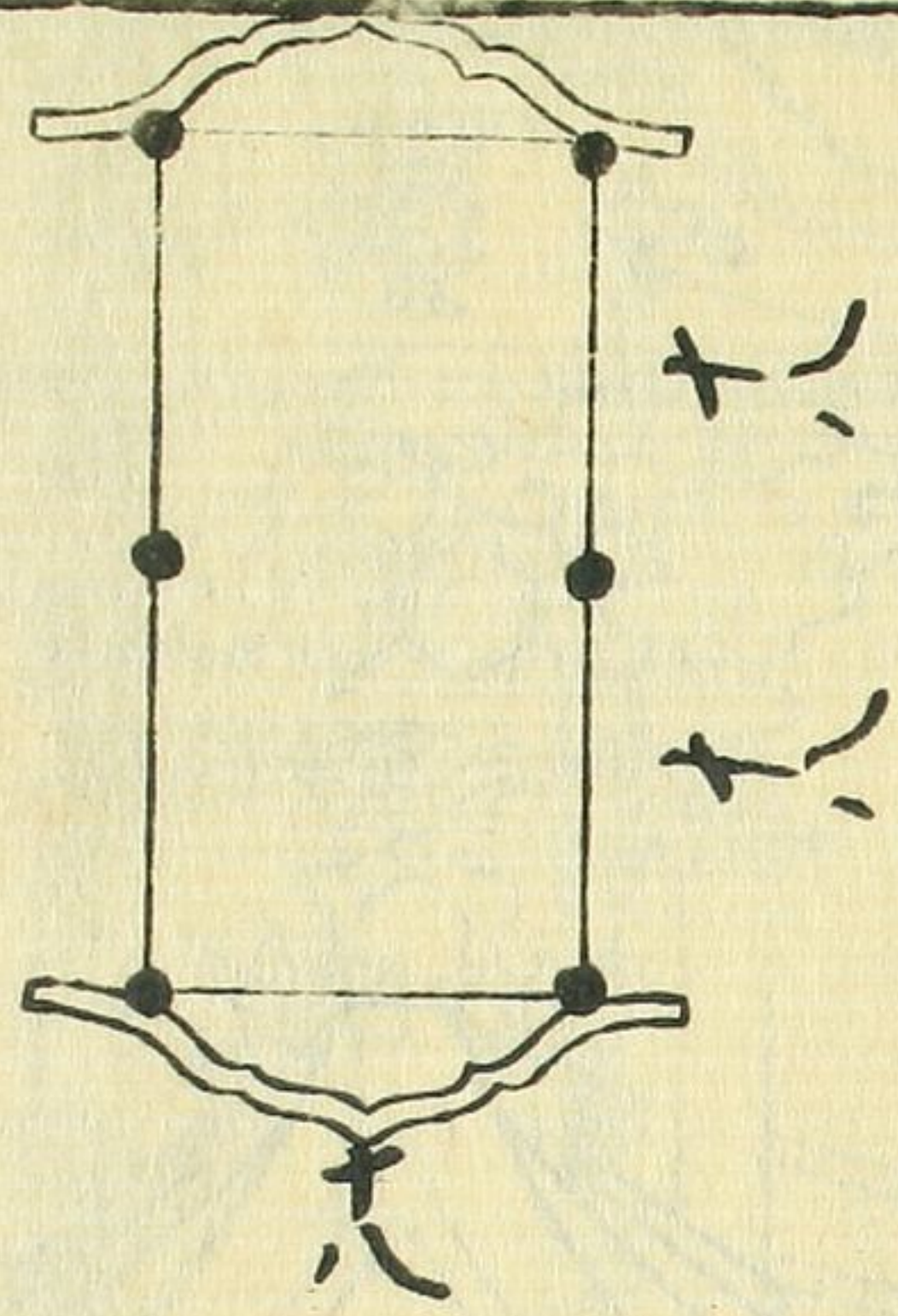


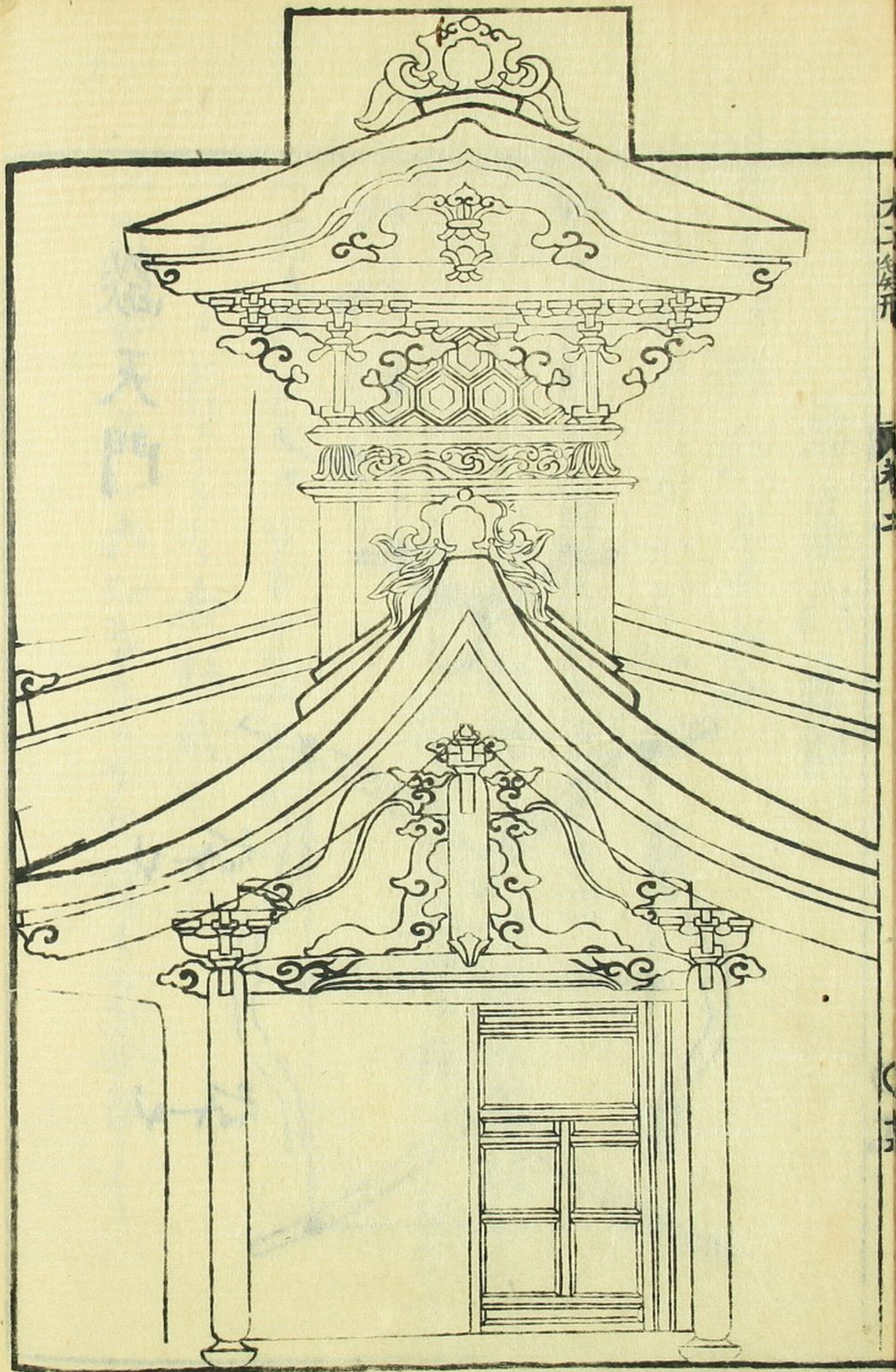
安喜門

安喜門本割

- 一 高サ四法七寸五分
- 一 柱間一丈すかど
- 一 取巻せい七かこ外いふおす板
- 一 地うくせい五分地埒く上のお貫尺合柱を
- 一 下く巻上のより取巻おすまどいワニ割くお巻下の  
まどこつかり
- 一 出幅厚サ四かすおさやうりこ
- 一 大日花々く合柱式おす
- 一 新出おす六こよりこつかりおす

燄天門





燄 天門木割

- 一 寸廿四寸はけりまゝ一上より海まで下りてす
- 一 柱大廿四寸間七ハ分取
- 一 大外柱七ハ分是外をたぐ木何れい合丸
- 一 柳上りてい七分はみおまなり
- 一 下乃高きう寸配七寸印えんみすなり

一とぬ長サ七分半反

一とく重サ七分半引く一とす中長サ七分

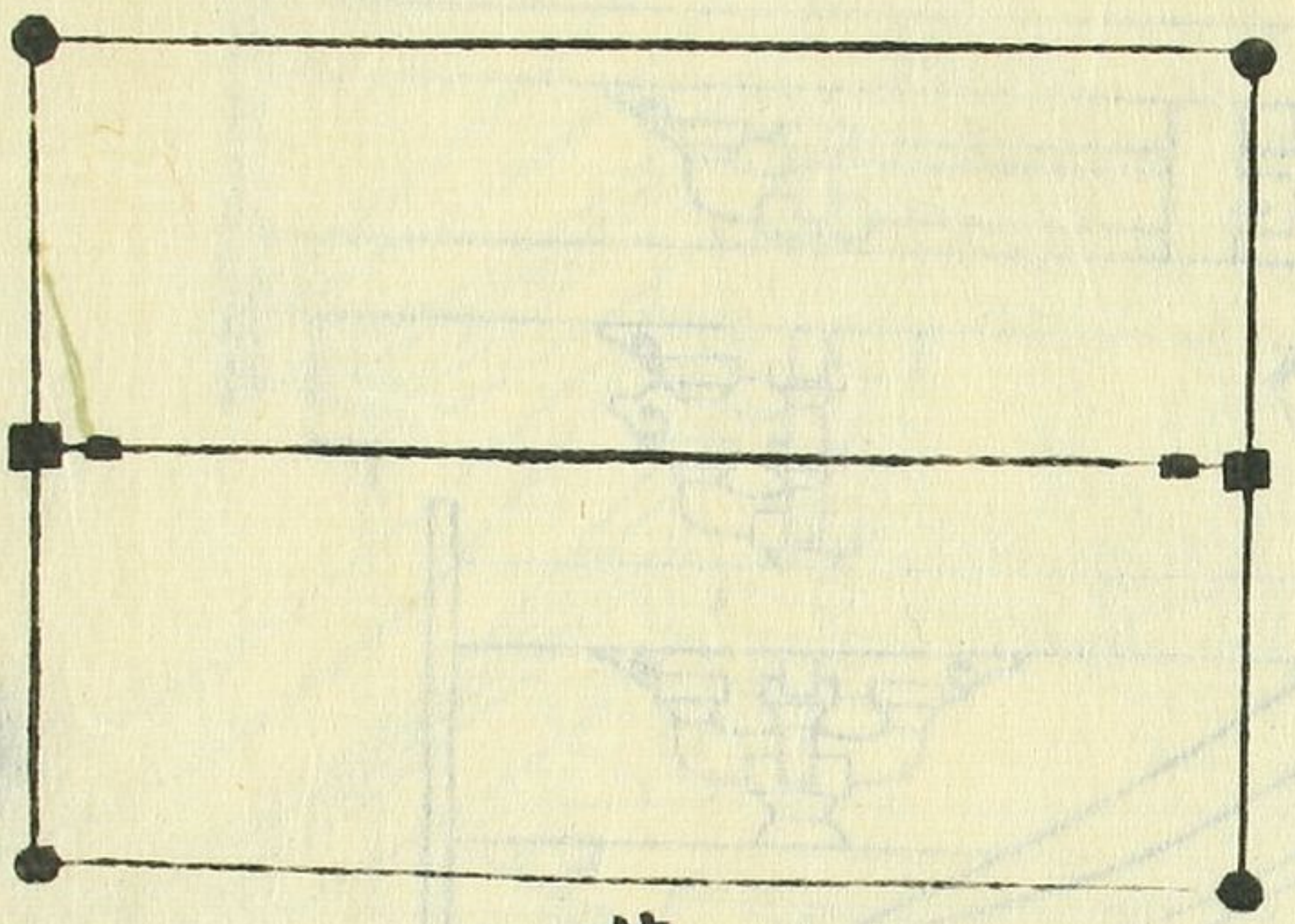
半ぬからるふ可くぬ柄く間三十枚より下之

重サ七分なり

一重く重サ七分ぬの——上のよりよく左端下

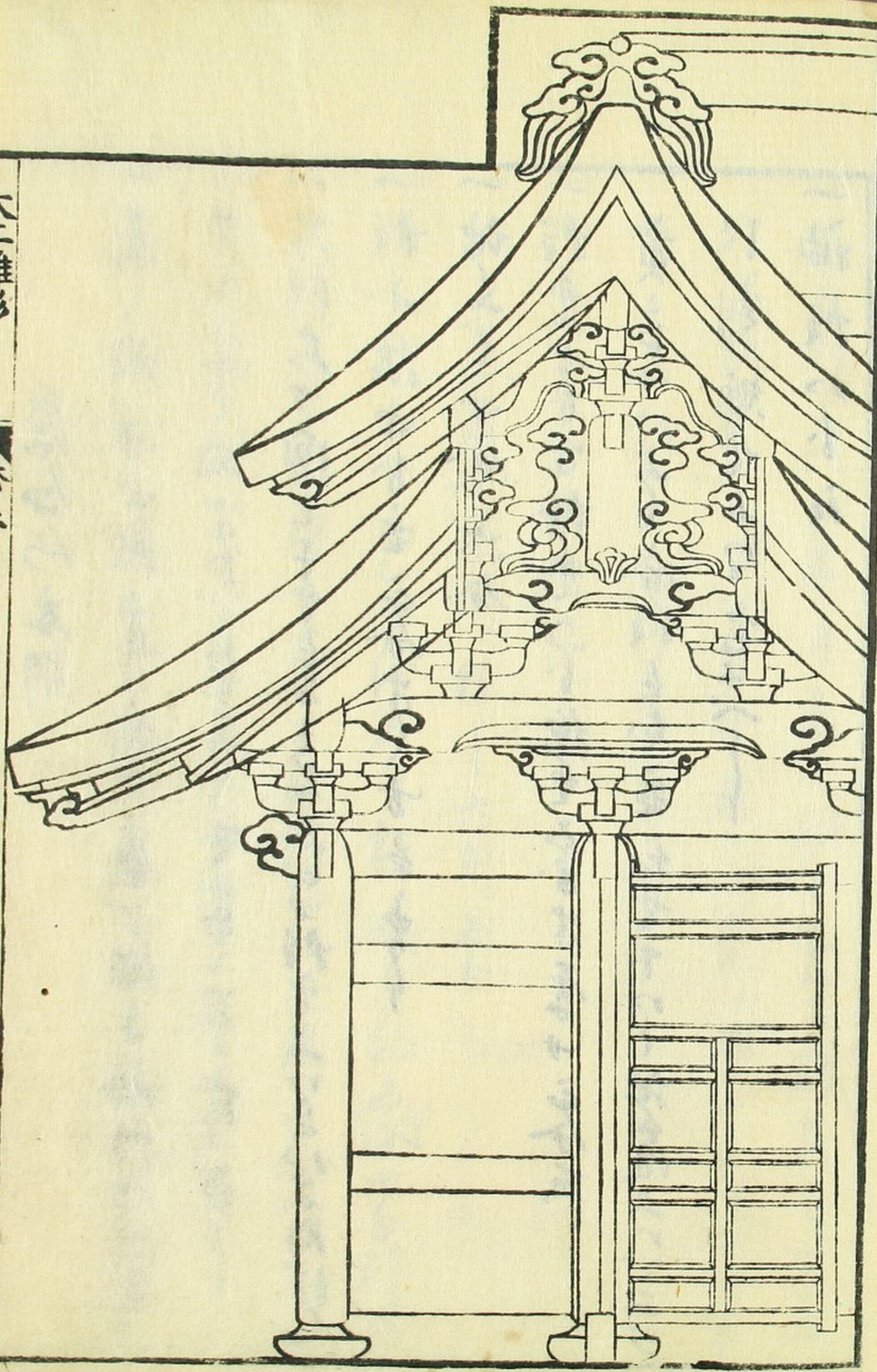
の端より下は指さるなり

九二金形

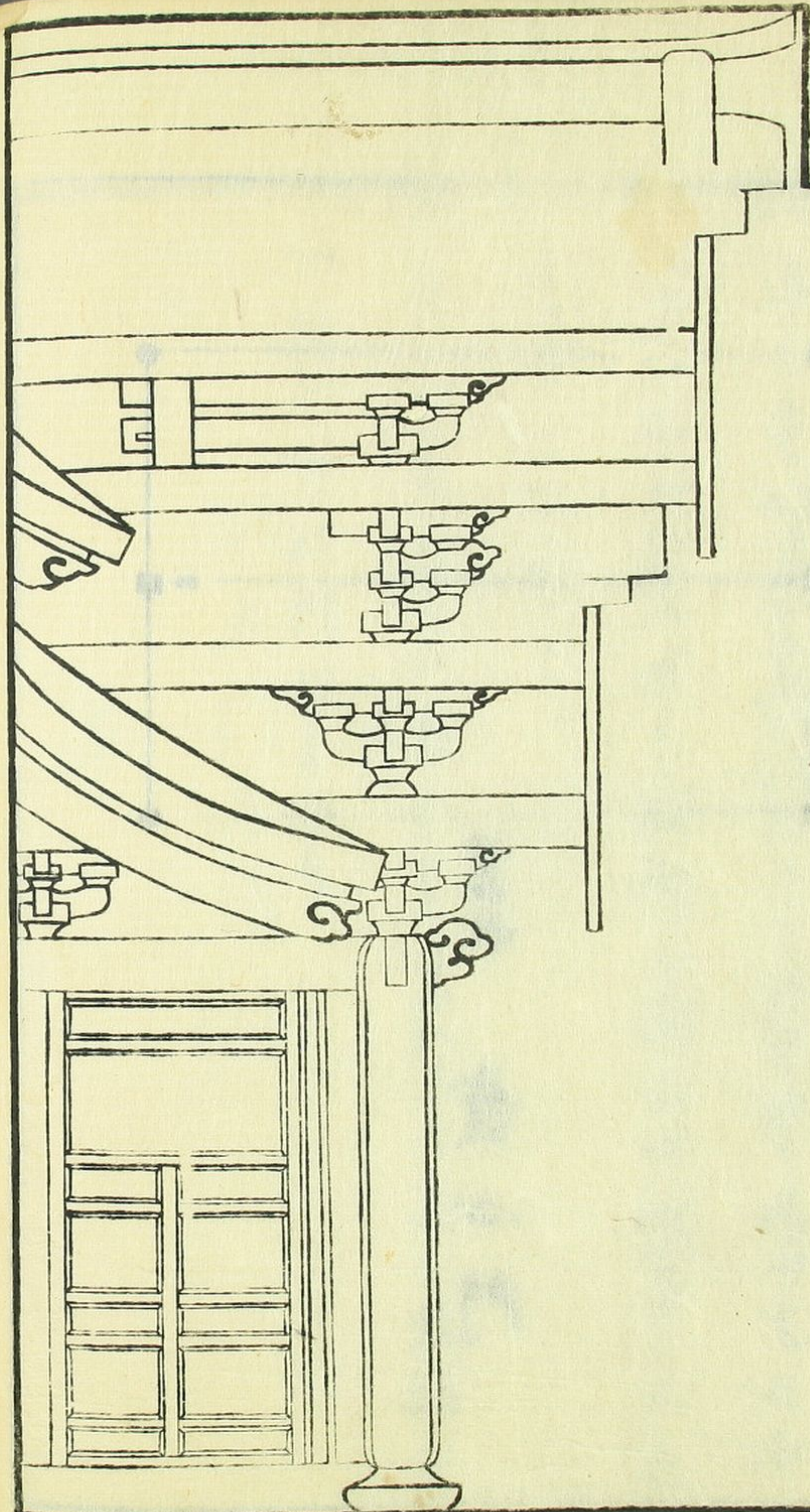


廿四枚

霞心門



發心門

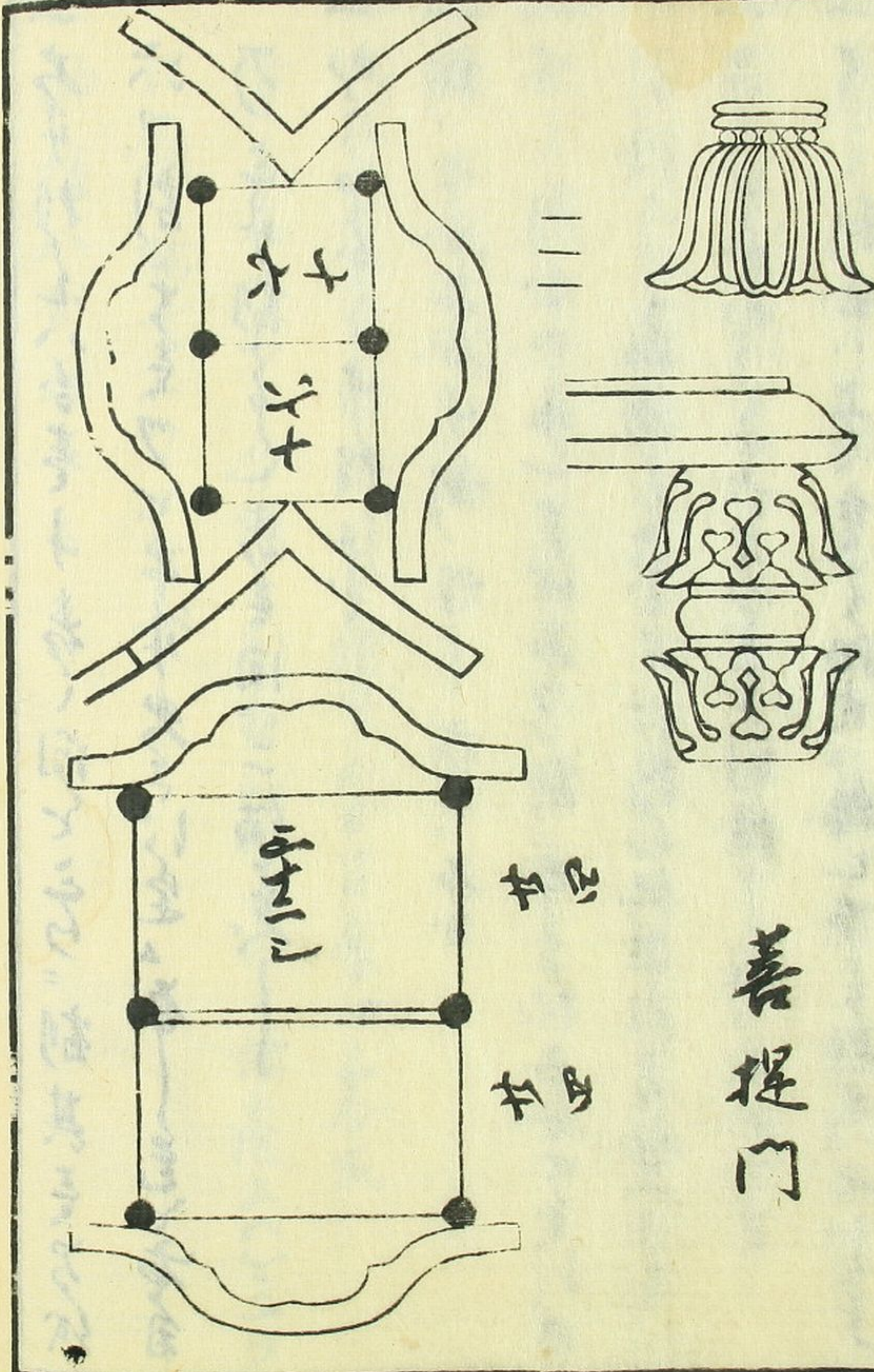
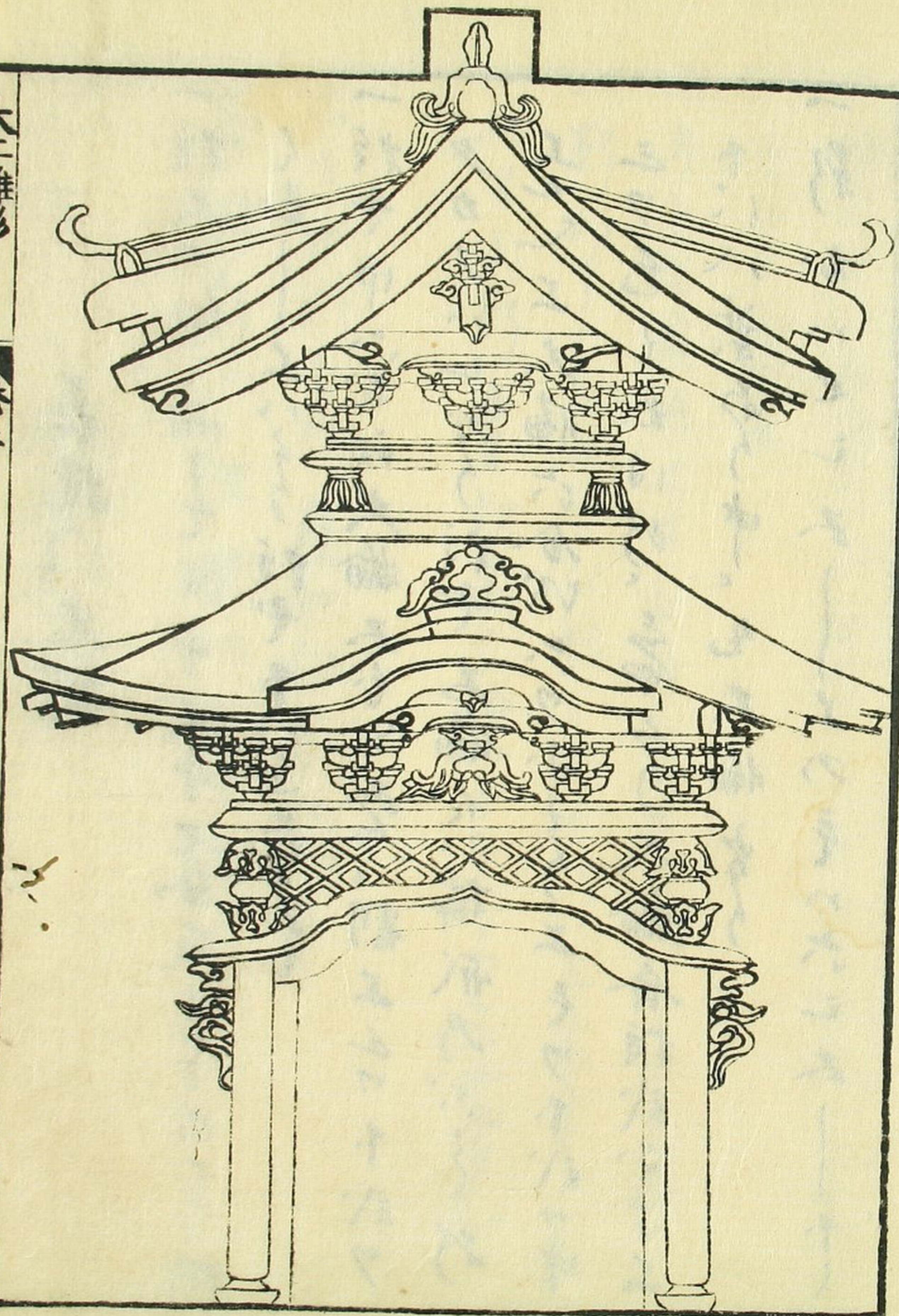




五箇の分割

- 一 妻の間に廿四枚妻の間に扉と用と袖指は定
- 下し妻の間に廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 右指は廿四枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 指小指の間に廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 地ふく甲分は六分
- 一 指中七枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 貫より廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- に割 懸垂上りの定ムべし
- 一 袖指は八枚

- 一 右指は八枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 六つ割は廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 乃 字半割は廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 右指は八枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 指七分五分中指は六枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 下し妻の間に廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 引後一と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 上し妻の間に廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と
- 一 下し妻の間に廿枚と用と上し妻の間に廿枚と用と



善提門



